

平成27年度北海道文化財年報



屯田兵絵物語
つげたり
附 屯田絵巻
(平成27年度道指定)

滝川屯田兵文書(平成27年度道指定)



新琴似村屯田兵村記録
(平成27年度道指定)



平成28年10月

北海道教育庁 生涯学習推進局 文化財・博物館課

はじめに

北海道には、長い間受け継がれてきた貴重な文化財が数多く残されています。これらは、北海道の歴史や文化を正しく理解するために欠かせないものであり、次の世代に確実に守り伝えていく必要があります。

文化財を保護するためには、調査や保存・整備・修理だけではなく、公開や情報発信を積極的に行い、その価値や魅力を多くの人々が共有することが大切です。このため、北海道教育委員会では、文化財に対する価値を正しく理解し、地域全体で後世に伝えていくため、文化財に親しむ機会の提供や文化財に関する多様な情報の発信などを通して、文化財に親しむ環境づくりに取り組んでいます。

この年報では、「旧網走監獄」など、新たに指定・登録された文化財や、縄文遺跡群の世界遺産登録に向けた取組、北海道文化財保護強調月間中の事業、北海道教育委員会が実施した文化財の各種調査や保存・整備、普及活用事業など、この一年間の文化財保護の歩みについて、写真・イラストを用いてわかりやすく紹介しています。

この年報を御活用いただき、文化財をより身近に感じていただく機会になれば幸いです。

●この文化財年報に関するお問い合わせ先

〒060-8544 札幌市中央区北3条西7丁目

北海道教育庁 生涯学習推進局 文化財・博物館課 文化財保護グループ

電話：011-204-5749

FAX：011-232-1076

メール：kyoiku.bunka2@pref.hokkaido.lg.jp

ホームページ：<http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/index.htm>

【表紙の写真】

表紙の写真3点は平成28年3月31日に指定された道指定有形文化財(歴史資料)です。

平成27年度は、北海道の開拓に大きく貢献した活動の記録がよくわかる資料として、3点を指定しました。

○「屯田兵絵物語 附 屯田絵巻」

「屯田兵絵物語 附 屯田絵巻」は、大分県から東旭川下兵村へ入植した廣澤徳治郎が作成した1冊の綴りと4巻の絵巻からなる資料で、小樽上陸から旭川への入地までの様子、入植地で原始林を拓き開墾する様子等が描かれています。

○「滝川屯田兵文書(第二大隊第三中隊・第四中隊文書)」

屯田兵の入植地は、中隊ごとに屯田兵村として配置され、軍と役所の機能を兼ね備えた統括的な組織でした。その中隊本部の文書は、戦後ほとんど焼却された中、本資料は唯一残された資料であり、開拓の姿を知ることができる貴重な一括資料となっています。

○「新琴似村屯田兵村記録」

本資料は、新琴似兵村に屯田兵が入植した翌年の明治21年から昭和4年までの兵村自治組織の議事録、収支予算決算書、決議事項、生産物の販売台帳等、屯田兵の自治的な活動を記した貴重な歴史資料です。

目 次

I	平成 27 年度文化財保護の主なあゆみ	P 1
1	新たに指定・登録された文化財	P 2
	(1) 国指定文化財	P 3
	(2) 道指定文化財	P 8
	(3) 国登録文化財	P 12
2	世界遺産登録を目指して	P 14
	(1) 世界遺産登録に向けた体制と事業について	P 15
	(2) 4 道県共通ホームページの作成について	P 16
	(3) 北海道の独自事業について	P 17
	(4) 「北海道東部の窪みで残る大規模竪穴住居跡群」について	
3	文化財保護強調月間について	P 18
4	アイヌ民俗文化財の保存・伝承	P 21
	(1) アイヌ民俗文化財調査事業	
	(2) アイヌ民俗文化財伝承・活用事業等	
5	指定文化財の保存整備(国庫補助事業)	P 22
	(1) 重要文化財	
	(2) 重要伝統的建造物群保存地区・重要文化的景観	P 25
	(3) 史跡・名勝・天然記念物	P 27
6	埋蔵文化財保護のための事前協議	P 30
7	埋蔵文化財の保護(国庫補助事業)	P 32
8	発掘調査	P 35

II 資料編

1 文化財

- (1) 文化財の指定状況(国指定・道指定) P 36
- (2) 国指定・選定文化財一覧 P 37
- (3) 道指定文化財一覧 P 43
- (4) 管内別市町村指定文化財一覧 P 49
- (5) 管内別登録文化財
- (6) 登録文化財一覧 P 50
- (7) 平成 27 年度北海道文化財保護強調月間実施事業一覧 P 54
- (8) 平成 27 年度文化財パトロール P 60
- (9) 平成 27 年度史跡名勝天然記念物の現状変更等許可件数
- (10) 平成 27 年度銃砲刀剣類の登録状況

2 埋蔵文化財 P 61

- (1) 市町村別埋蔵文化財包蔵地一覧
- (2) 平成 27 年度埋蔵文化財保護のための事前協議件数と
北海道実施の所在・試掘調査一覧 P 62
- (3) 平成 27 年度北海道実施の管内別埋蔵文化財所在調査・試掘調査一覧
- (4) 平成 27 年度管内別発掘調査一覧
- (5) 平成 27 年度周知の埋蔵文化財包蔵地での工事の届等件数 P 63
- (6) 平成 27 年度埋蔵文化財包蔵地の発見届等
- (7) 平成 27 年度出土文化財認定件数と出土遺物量
- (8) 平成 27 年度出土文化財譲与件数

3 その他 P 64

- (1) 北海道教育推進計画
- (2) 平成 27 年度北海道文化財保護審議会 P 65
- (3) 北海道文化財保護審議委員一覧
- (4) 平成 27 年度銃砲刀剣類登録審査会 P 66
- (5) 北海道銃砲刀剣類登録審査委員
- (6) 北海道立埋蔵文化財センター
- (7) 文化財情報の発信 P 68
- (8) 文化財関係機関・団体リンク P 69

I 平成 27 年度文化財保護の主なあゆみ

○ 新指定(国指定・道指定・国登録)の文化財

・国指定の重要文化財では、網走市にある「旧網走監獄」及び「旧網走刑務所二見ヶ刑務支所(二見ヶ岡農場)」が重要文化財(建造物)として、羅臼町にある「北海道松まつ法川北岸遺跡出土品」が重要文化財(考古資料)に指定されました。

また、寿都町にある「旧歌きゆう棄たす佐藤家漁場」が史跡に指定されました。

・国の登録文化財では、隅柱しょうに焼過煉瓦を装飾的に用いるなど、優れた意匠的をもつ鉄道施設「旭川市市民活動交流センター市民活動支援棟(旧国鉄旭川車両センター木機もつき乾燥場)」や「旭川市市民活動交流センターホール棟(旧国鉄旭川車両センター第二木機もつき職場)」、「北海道護国神社平成館(旧陸軍第七師団北鎮兵事記念館)」の旭川市所在の3物件、日高町所在の「飯田家住宅主屋」の計4件が登録有形文化財に登録されました。

○ 世界遺産登録へ向けた取組

北海道・青森県・岩手県・秋田県などが共同提案した「北海道・北東北を中心とする縄文遺跡群」が、平成21年1月5日にユネスコの世界遺産暫定リストに記載されました。4道県と関係14市町は、世界遺産登録をめざし、推薦書案の作成や登録推進のための情報発信などを行いました。

○ 北海道文化財保護強調月間の取組

北海道教育委員会は関係機関5者と共同で、平成20年度に毎年10月8日～11月7日を北海道文化財保護強調月間に設定しました。この月間の設定は、道内にある貴重な文化財の価値を正しく理解し、地域全体で後世に伝えていくため、子どもたちや地域の人々が文化財に親しむ環境づくりの推進を目的としたものです。

平成27年度は期間中に、82市町村で、展示会、指定文化財の一般公開、講演・講座や文化財に関連するイベントなど201事業が実施され、多くの方が参加しました。

○ アイヌ民俗文化財の保存・伝承把握

かなり金成マツノートの整理・翻訳やアイヌ文化財専門職員等研修会を実施しました。

○ 文化財の保存整備

北海道や市町村が主体となって、国庫補助を活用した重要文化財の保存・修理や史跡整備などの文化財の保存整備事業を21件実施しました。

○ 埋蔵文化財の保護

埋蔵文化財については、開発事業に伴う144件の所在調査・試掘調査を実施し、開発計画の変更や、事前の発掘調査を求めるなどの調整を行いました。

埋蔵文化財の発掘調査は69件が実施されました。

この他にも、様々な取り組みを行っています。詳しくは、この年報を御覧ください。

1 新たに指定・登録された文化財

国指定については、重要文化財2件、考古資料1件、史跡1件、道指定については有形文化財（歴史資料）が3件あり、国登録については登録有形文化財（建造物）が4件あります。

(1) 国指定文化財

● 重要文化財（建造物）

「旧網走監獄」（平成28年2月9日付）

「旧網走刑務所二見ヶ岡刑務支所（二見ヶ岡農場）」（平成28年2月9日付）

● 重要文化財（考古資料）

「北海道松法川北岸遺跡出土品」（平成27年9月4日付）

● 史跡

「旧歌棄佐藤家漁場」（平成28年3月1日付）

(2) 道指定文化財

● 有形文化財（歴史資料） [平成28年3月31日付]

「屯田兵絵物語 附 屯田絵巻」（旭川市）

「滝川屯田兵文書（第二大隊第三中隊・第四中隊文書）」（滝川市）

「新琴似村屯田兵村記録」（札幌市）

(3) 国登録文化財

● 登録有形文化財（建造物） 4件 [平成27年11月17日付]

「旭川市市民活動交流センター市民活動支援棟（旧国鉄旭川車両センター木機乾燥場）」（旭川市）

「旭川市市民活動交流センターホール棟（旧国鉄旭川車両センター第二木機職場）」（旭川市）

「北海道護国神社平成館（旧陸軍第七師団北鎮兵事記念館）」（旭川市）

「飯田家住宅主屋」（日高町）



(1) 国指定文化財

① 重要文化財（建造物）

「旧網走監獄」

【指定日】平成28年2月9日

【所在地】網走市呼人1番地

【員数】3棟（庁舎、舎房及び中央見張所、教誨堂）

【年代】明治23年／明治45年再建／昭和56年以降移築

【解説】網走監獄は明治23年に網走囚徒外役所を設置したことに始まり、明治36年監獄官制発布に伴い網走監獄となりました。明治42年に火災により建物の大半を焼失し、現在の建物は明治45年に再建されたものです。設計は司法省で、収容者の手により施工されました。その後、刑務所の改築計画に伴い昭和56年以降建造物が順次現位置に移築され、博物館網走監獄として公開活用がはかられています。

旧網走監獄の庁舎ほか2棟は、監獄における主要施設であり、明治期の木造監獄建築の数少ない遺例として歴史的価値が高く、とりわけ舎房及び中央見張所は、木造の放射状舎房が完全な形で残る唯一のもので、当時の標準的な獄舎の特徴を備えており重要な歴史遺産となっています。

【問合せ先】電話：0152-45-2411（代表）

ホームページ：<http://www.kangoku.jp/>

○庁舎、舎房



○ 中央見張所(舎房内)



○ 第四舎房内部

脱獄王白鳥由栄の脱獄再現人形が天井部に展示されています。博物館内には囚人をかたどった多くの蝋人形が展示されています。

○ 教誨堂



② 重要文化財（建造物）

「旧網走刑務所二見ヶ岡刑務支所（二見ヶ岡農場）」

【指定日】平成 28 年 2 月 9 日

【所在地】網走市呼人 1 番地

【員 数】5 棟（庁舎、舎房、教誨堂及び食堂、鍵鎖附着所、炊場）

【年 代】明治 29 年／平成 11 年移築

【解 説】旧網走刑務所二見ヶ岡刑務支所は、明治 29 年、北海道集治監網走分監の屈斜路外役所として、集治監の過剰拘禁の緩和と農地開墾による自給自足を目指して開設されました。昭和 4 年に網走刑務所二見ヶ岡刑務支所となり、平成 11 年博物館に移築されました。施設は明治 29 年建築の庁舎、舎房、炊場と、大正 15 年に増築された教誨堂及び食堂、昭和 5 年の鍵鎖附着所からなります。全国でも珍しい農園を持つ刑務所の建築群で、当初に遡る主要建物を良く残し、特に舎房は明治中期に遡る獄舎建築として歴史的に高い価値があります。また一連の施設を残している点でも貴重で、構外泊込作業場から段階的処遇制度の先駆的施設への発展過程をよく示しており、行刑史上高い価値が認められます。

○ 網走刑務所二見ヶ岡刑務支所正面



○ 建物(舎房)裏面





○ 食堂内部

③ 重要文化財（考古資料）

「北海道松法川北岸遺跡出土品」（ほっかいどうまつのりがわほくがんにせきしゅつどひん）

【指定日】平成 27 年 9 月 4 日

【所在地】目梨郡羅臼町峯浜町 307 番

【員数】総数 260 点

NO	種別	員数	NO	種別	員数
1	土器・土製品	64 点	4	樹皮製品	6 点
2	石器・石製品	120 点	5	鉄刀子(てつとうす)	5 点
3	木製品	37 点	6	骨角製品	28 点

【年代】7～8 世紀

【解説】7 世紀から 8 世紀頃、知床半島の松法川河口近くの砂丘上に存在した集落跡から出土した一括資料です。

木製品は、大小の槽(そう)、皿、椀、杓子(しゃくし)などの什器(じゅうき)類、矢筒(やづつ)などの狩猟具類、熊や、シヤチなどの動物意匠が彫刻された祭祀具類など、通常の埋蔵環境では残らない資料が数多く含まれています。動物意匠遺物は、土製品・骨角器にもある。この他石鏃・石錘・浮子・銛頭(もりがしら)・釣針等もあります。

オホーツク文化を担った人々の集落跡出土品一括であり、当時の精神文化や、生活を復元するうえで、その学術価値はきわめて高く、北海道における、人々の生活の実態を復元する上で、類品のない貴重な資料です。

【問合せ先】羅臼町郷土資料館 電話：0153-88-3850（代表）

ホームページ：<http://bunka.nii.ac.jp/db/heritages/detail/285200>



④ 史跡

「旧歌棄佐藤家漁場」(きゅうたすつさとうけぎよば)

【指 定 日】平成 28 年 3 月 1 日

【指定内容】面積 66,063.12 m²

【所 在 地】寿都郡寿都町字歌棄町有戸 154 番ほか

【解 説】旧歌棄佐藤家漁場は、北海道の日本海側南部に位置する寿都湾に面する寿都町字歌棄町に所在しています。明治時代を全盛期とした佐藤家の漁業経営の拠点、漁場の遺跡です。初代栄右衛門(えいうえもん)は陸奥国信夫郡飯坂村に生まれ、嘉永 5 年(1852)、ヲタスツ・イソヤ(歌棄・磯谷)両場所の請負人となり、翌 6 年、磯谷に移住し、地域の行政的な役割をも担いながら、開拓使による明治 2 年(1869)の場所請負制の廃止布達後も漁場経営を続けました。初代栄右衛門は建網(行成網)(たてあみ(ゆきなりあみ))の開発を行い、北海道漁業の振興に大きく貢献しました。佐藤家は明治 5 年頃、歌棄に転住し、明治 20 年(1887)頃には道内でも有数の大規模経営を行うに至りました。二代栄右衛門の代に、和風と洋風を併せた九間取の住宅主屋と邸内社社殿の建造及び海の袋澗(ふくろま)の築造を行い、さらに鯧の干場(かんば)として住宅裏手の段丘上の土地も、明治 31 年(1898)に払下げを受けました。旧歌棄佐藤家漁場の最盛期の建物配置は明治期の写真や明治 34 年(1901)の「家屋台帳」から把握できます。

旧歌棄佐藤家漁場は前浜に築造された袋澗、居宅と邸内社、背後の干場と、海から陸地へと連続して展開する北海道西海岸の漁場の佇まいを今日に伝える極めて貴重な遺跡であることから、国の史跡に指定されました。

【問合せ先】寿都町教育委員会住民学習推進係 電話：0136-62-2100

ホームページ：<http://bunka.nii.ac.jp/heritages/detail/179293>



旧歌棄佐藤家漁場全景

(2) 道指定文化財

- ① 有形文化財(歴史資料)「屯田兵絵物語 ^{つげたり} 附 屯田絵巻」

【指 定 日】平成 28 年 3 月 31 日

【所 在 地】旭川市東旭川南 1 条 6 丁目 3-26(旭川兵村記念館)

【員 数】1 点 附 4 点

【年 代】大正末期～昭和 24 年

【解 説】本資料は、作者が小樽上陸から東旭川下兵村への入植、訓練、生活等の様子を描いた絵図と説明原稿からなる「屯田兵絵物語」(1冊)と「屯田絵巻」(全4巻)との計5点の歴史資料です。

本資料は、明治 25 年に屯田兵として東旭川下兵村(東旭川第三大隊第三中隊)に入植した廣澤徳治郎が、小樽上陸から旭川への入地までの様子、入植地で原始林を拓き開墾する姿、農作業や養蚕の状況、軍事教育等の活動、そして当時使用した農具、生活用品及び生息していた野鳥、獣類に至るまで、自らが目にし、体験したことを描いた資料であり、当地での生活や屯田を中心とした地域社会の様子等、屯田兵が当地に定着するまでの事象が、当事者の視点から克明に記録された、北海道の開拓期を知る上で貴重な歴史資料です。

ア「屯田兵絵物語」について

「屯田兵絵物語」は、絵図 221 枚と 400 字詰め原稿用紙 188 枚の説明原稿からなり、絵図は大正末期から昭和 16 年以前に描かれ、原稿執筆は昭和 18 年から 19 年と考えられる。大分県から入植した一団が、小樽に上陸してから東旭川下兵村へ移動する様子、入植地の開墾、屯田兵としての訓練、当地での生活状況等、兵村に定着するまでの様子が絵図と文書で詳細に記録されています。昭和 56 年 2 月 20 日に「屯田物語原画綴」として旭川市指定有形文化財に指定されていました。

[屯田絵物語]
小樽上陸後入植地
(旭川)へ移動する様
子等が描かれていま
す



イ「屯田絵巻」について

屯田絵巻は、作者が屯田兵絵物語完成後、絵物語の絵図を拡大明瞭化した絵図の作成に取り組み、昭和24年に亡くなった際、4つの束からなる絵図が遺され、昭和54年4月25日に、当時旭川兵村記念館職員がその絵図を絵巻物として完成させたものです。

1巻目は入植地である東旭川下兵村での生活の様子、2巻目は屯田兵の訓練及び入植地周辺に生息する動物等の自然環境、3巻目は住宅、兵装他官給品、生活及び農具等の物品、4巻目は森林伐採など開墾、田植え等の農作業の様子等が描かれています。

[屯田絵巻全四巻]



第2巻（軍事教育中の様子を描写）



第4巻（入植地での開墾の様子を描写）



【問合せ先】 旭川兵村記念館 電話：0158-42-2191
ホームページ：http://a-heison.sakura.ne.jp/

② 有形文化財(歴史資料)「滝川屯田兵文書(第二大隊第三中隊・第四中隊文書)」

【指 定 日】 平成 28 年 3 月 31 日

【所 在 地】 滝川市新町 3 丁目 8 番 20 号(滝川市郷土館)

【員 数】 61 点

【年 代】 明治 22 年～明治 37 年

【解 説】 屯田兵の入植地は、中隊ごとに屯田兵村として配置されており、中隊本部は、軍としての統括機能及び役所としての住民管理機能を備えていました。

終戦後、多くの中隊本部で関連文書を焼却廃棄したため、現存する資料は、第三大隊第三中隊など数隊しか残されていません。本資料は、中でも唯一のまとまった資料であり、特異な組織であった屯田兵と兵村における暮らしの実像、北海道における開拓の姿を知ることができる歴史的遺産として貴重な一括資料です。

○ 資料の概要

屯田兵に関する記録文書は、昭和 20 年の敗戦時に、軍隊組織に関連する文書とみなされ廃棄されたものが多いのですが、第二大隊第三中隊の文書は、兵村小学校(現：滝川市立滝川第二小学校)に移管されていたため廃棄されず、そのまま保管されてきました。

なお、本資料のうち第二大隊第三中隊文書については、昭和 56 年 1 月 26 日に「屯田兵第二大隊第三中隊文書」として滝川市指定有形文化財に指定されていました。

滝川屯田兵文書(第二大隊第三中隊・第四中隊文書)全巻



【問合せ先】 滝川市教育委員会滝川市郷土館社会教育課 電話：0125-23-0502

ホームページ： <http://bunka.nii.ac.jp/heritages/detail/288640>

③ 有形文化財(歴史資料)

「新琴似村屯田兵村記録」

【指 定 日】 平成 28 年 3 月 31 日

【所 在 地】 札幌市北区北 8 条西 5 丁目（北海道大学附属図書館）

【員 数】 61 点

【年 代】 明治 23 年～昭和 4 年

【解 説】

○ 新琴似兵村会について

明治期における北海道開拓の先駆けとなった屯田兵は、概ね 200～240 戸で集落（兵村）を形成し、明治 21 年の「兵村会規則」に基づいて自治機関としての兵村会がそれぞれの兵村に設置されました。選挙で選ばれた委員の合議により、学校維持、備荒貯蓄、土木、農業改良、衛生等を議決、執行しました。

220 戸からなる新琴似兵村では、相互扶助に基づく各種の規約を制定し、活発な議論を重ねながら広範な事業を推進しました。兵村会制度が廃止となった明治 34 年以降も自治機能を維持し、明治 44 年からは屯田兵以外の入植者を加えた自治組織に移行し、戦後の町内会組織の基盤ともなりました。

○ 兵村会記録の詳細・希少性

会議録、収支報告などの兵村会記録は、役場や軍機関などが扱う行政文書・公文書ではないため、保存例が極めて少ないです（現存するのは、旭川兵村の明治32～34年、篠路兵村の明治26年など）。本資料には、制度廃止後に継承した自治組織も含めて長期にわたる自治活動の全体像をはじめ、暮らしや産業に関する事項が詳細に記録されています。

新琴似村屯田兵村記録は、北海道における地方自治制度が未整備な時期に、「共助」の精神を基盤とした共同による生産事業や学校運営、治水・造田等の公共事業、相互扶助、善行の表彰といった自治活動を活発に展開した新琴似兵村会の実像を伝える貴重な資料であり、住民の目線で見えた当時の地域の暮らしや産業の姿を記載した記録が多く含まれており、開拓期における北海道の経済、社会、文化等の様子を表した重要な歴史資料であり、その学術的価値は高いです。



【問合せ先】北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課文化財保護グループ
電話：011-231-4111（代表）内線：35-620

（3） 国登録文化財

国登録有形文化財（建造物）

- ① 旭川市市民活動交流センター市民活動支援棟（旧国鉄旭川車両センター^{もつきかんそうば}木機乾燥場）

【登録日】平成27年11月17日

【年代】明治32年

【所在地】旭川市宮前1条3丁目13

【解説】旭川駅南東の車両センター跡地に建つ。正方形平面になる、列車の用材を乾燥させた施設。外壁は煉瓦造フランス積で、両妻面の中央に三中心アーチ、他は欠円アーチの開口を配し、ペディメントや隅柱に焼過煉瓦を装飾的に用いるなど、優れた意匠をもつ鉄道施設です。



【問合せ先】旭川市教育委員会社会教育部文化振興課 電話：0166-25-7558

ホームページ： <http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/>

② 「旭川市市民活動交流センターホール棟（旧国鉄旭川車両センター第二木機^{もつき}職場）」

【登録日】平成27年11月17日

【年代】明治32年

【所在地】旭川市宮前1条3丁目13

【解説】市民活動支援棟の東側に雁行して建つ、列車の木部造作作業を行った木機職場の遺構です。外壁フランス積で妻中央の三中心アーチの他、幅広のアーチ窓やスリット状の縦長窓を配して外観に変化を与え、ペディメントやコーニスに焼過煉瓦を積み、意匠を引締めています。



【問合せ先】旭川市教育委員会社会教育部文化振興課 電話：0166-25-7558

ホームページ： <http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/>

③ 「北海道護国神社平成館（旧陸軍第七師団北鎮兵事記念館）」

【登録日】平成27年11月17日

【年代】昭和10年

【所在地】旭川市花咲町1丁目3853他

【解説】神社境内の南東に建つ、鉄筋コンクリート造一部2階地下1階建。中央部の正背面を張出し、切妻造の屋根も中央を高めて強調する。屋根の大棟や降棟に鬼を置き、破風に懸魚を飾る。白壁の腰を石張として城郭風に見せるなど、当時の日本趣味意匠の一端を示しています。

【問合せ先】旭川市教育委員会社会教育部文化振興課 電話：0166-25-7558

ホームページ： <http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/>



④ 「飯田家住宅主屋」

【登録日】平成27年11月17日

【年代】明治後期

【所在地】沙流郡日高町門別本町92

【解説】太平洋に面する海辺に建つ住宅。東面して玄関を構え、西寄りに応接用の洋間を持ち、矩折れの廊下を介して北西側に二室の座敷を配しています。一五畳主室は棹縁天井を高く張り、大振りの床を構える座敷飾を備え、上下窓を並べており、和洋の意匠を取り混ぜた上質な住宅になっています。



【問合せ先】日高町立門別図書館郷土資料館 電話：01456-2-3746

ホームページ：<http://www.hidaka.pref.hokkaido.lg.jp/ss/srk/hkd/thidaka/032.htm>

2 世界遺産登録を目指して

平成21年1月5日、「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」を含む国内の3件の文化遺産がユネスコ世界遺産センターの管理する「世界遺産暫定一覧表」（世界遺産候補となる各国資産のリスト）に記載されました。

北海道と北東北3県は、平成21年6月に4道県と関係する12市町の首長と教育長で構成する「縄文遺跡群世界遺産登録推進本部」を設置し、登録推進のための事業を継続しています。北海道教育委員会においても、知事部局と連携し、登録推進のための情報発信事業を行っています。

平成27年度については、政府が「宗像・沖ノ島と関連遺産群」を推薦することとなり、「推進本部」として、目標としていた平成27年度のユネスコへの推薦は、見送ら

れることとなりましたが、平成 28 年 3 月 24 日に、引き続き 4 道県 14 市町は、共同して「直近の機会での推薦」を目指すこととしております。

(1) 世界遺産登録に向けた体制と事業について

「縄文遺跡群世界遺産登録推進本部」が世界遺産登録に向けて行う主な事業は 2 つあります。

第一は「世界遺産登録推薦書案」の作成です。「暫定一覧表」に記載された物件が世界遺産登録にふさわしいかどうかの審査を受けるためには、日本政府がユネスコ世界遺産センターに「登録推薦書」を提出しなければなりません。この推薦書のもととなる「世界遺産登録推薦書原案」を平成 25 年 7 月に文化庁へ提出しましたが、同年 8 月の文化審議会の特別委員会において、推薦を得ることはできませんでした。

その後、文化審議会から示された諸課題について、国内外の専門家の助言を得ながら、推薦内容の精度を高め、平成 27 年 3 月と平成 28 年 3 月の 2 回にわたり改訂の内容を「世界遺産登録推薦書素案」として文化庁へ提出しています。平成 28 年 3 月の「素案」における重要な改訂は、周辺景観の保全等に問題があると考えられた森町の史跡「鷺ノ木遺跡」を含む構成資産 2 件を推薦の対象から除外したことです。今後はこの 2 件を推薦資産と一体的に保存活用するとともに、将来的には追加登録をも実現するための方策検討が登録推進の大きな課題となります。

第二は登録推進のための普及啓発、国際的合意形成です。政府の推薦を受けるためには日本を代表する文化遺産の一つとして広く国内の支持を得る必要があり、また登録の実現にはそれを妥当とするだけの国際的な評価を得なければなりません。そこで広報資料の作成や説明会の開催などを通じて、国内外に縄文遺跡群の「顕著な普遍的価値」を発信していこうとするものです。

「本部」のもとには各自治体の文化財担当課長などで組織する「縄文遺跡群世界遺産登録推進会議」と考古学や文化財学などの専門家による「縄文遺跡群世界遺産登録推進専門家委員会」が設置され、それぞれの事業の円滑な実施と専門的な事項の調査・検討を行っています。平成 27 年度には臨時も含め推進会議を 4 回、専門家委員会を 1 回開催し、協議を進めました。

また、平成 27 年 11 月に伊達市(北海道)、平成 28 年 1 月に東京で「縄文遺跡群世界遺産登録推進フォーラム」を開催しました。フォーラムでは、多くの方に参加いただき、人類史における縄文遺跡群の価値、北海道・北東北の縄文遺跡群の特徴などをテーマに講演・説明を行いました。

◆縄文遺跡群世界文化遺産登録推進フォーラム開催（伊達市）開催の様子

ホームページ：<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/bns/jomon/26forum.htm>

○パネル展



○世界遺産登録推進フォーラム



(2) 4道県共通ホームページの作成について

平成25年8月30日に、世界遺産登録をめざす「北海道・北東北の縄文遺跡群」の普及啓発を目的に、4道県共通ホームページを開設しました。

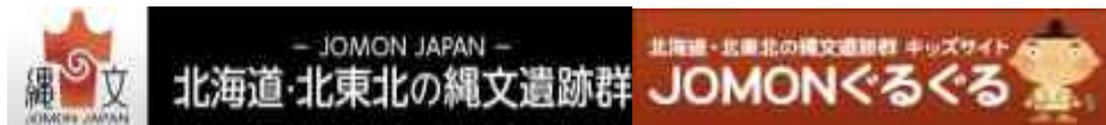
また、平成26年3月31日には、子どもたちに縄文遺跡群の魅力を紹介する北海道・北東北の縄文遺跡群キッズサイト「JOMONぐるぐる」を開設しております。

◆「JOMON JAPAN 北海道・北東北の縄文遺跡群」

ホームページ：<http://jomon-japan.jp/>

◆北海道・北東北の縄文遺跡群キッズサイト「JOMONぐるぐる」

ホームページ：<http://jomon-japan.jp/kids/>



(3) 北海道の独自事業について

平成 14 年の北海道・北東北知事サミットにおける北海道知事の提案に基づき、北海道は平成 16 年度から縄文文化を核にした地域間交流を行う「北の縄文文化回廊づくり」事業を青森・岩手・秋田の 3 県とともに進めてきました。

暫定一覧表への記載はこの取組みの基盤のうえに実現したものであり、平成 24 年度においては、世界遺産の登録を目指す取組を一元的に推進する組織として知事部局に「縄文世界遺産推進室」が設置され、北海道教育委員会と連携して、道内における気運の醸成を図るために道独自の事業を行っております。

7 月～8 月に「北の縄文パネル展 2015 夏・釧路」を釧路市で、11 月に札幌市で「2015 北の縄文フォーラム」を開催しました。

これらの登録推進事業については縄文世界遺産推進室のウェブサイト内で報告し、今後の予定についても紹介しておりますので、御参照ください。

○北の縄文パネル展 2015 夏・釧路（釧路市）



○2015 北の縄文フォーラム（札幌市）



◆「北の縄文パネル展 2015 夏・釧路」

ホームページ：<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/bns/jomon/njpanel.htm>

(4) 「北海道東部の窪みで残る大規模竪穴住居跡群」について

平成 19 年 9 月、北海道は北見市、標津町とともに「北海道東部の窪みで残る大規模竪穴住居跡群」を世界遺産暫定一覧表に記載するよう文化庁に提案しましたが、現状では世界遺産としての「顕著な普遍的価値」の証明が難しいとして記載は見送られました。この資産の評価については文化庁「文化財オンライン」内「暫定一覧表記載資産の追加について」などを御覧ください。

ホームページ：http://bunka.nii.ac.jp/special_content/hlink14

3 文化財保護強調月間について

「北海道文化財保護強調月間」は、平成20年度に毎年10月8日～11月7日の期間を、北海道教育委員会をはじめ、札幌市、北海道都市教育委員会連絡協議会、北海道町村教育委員会連合会、北海道文化財保護協会、北海道博物館協会の6者により共同で設定したものです。

この月間の設定は、道内にある貴重な文化財の価値を正しく理解し、地域全体で後世に伝えていくため、子どもたちや地域の人々が文化財に親しむ環境づくりの推進を目的として、月間期間中に、各市町村教育委員会や道内の博物館等の協力により、文化財公開・活用事業（指定文化財の一般公開や文化財に関連する事業）を実施するものです。

平成27年度は、第8回目として、展示会、指定文化財の一般公開、講演・講座、シンポジウムなど、文化財に関連するイベントが、82市町村で201の事業が実施されました。

また、北海道教育委員会では、11月15日に「2015北の縄文フォーラム」（北海道と共催）を開催し、多くの皆様に御来場頂きました。

なお、第8回北海道文化財保護強調月間ポスターには、北海道文化財保護協会主催のこの文化財愛護活動推進事業「文化財おもしろ絵手紙講座」の様子を掲載しました。

今後も、市町村教育委員会等の協力を得ながら、様々なかたちで、児童・生徒の皆さんに、そして、広く道民の方々に文化財を身近に親しんでいただく機会づくりに、取り組みます。

・文化財保護強調月間ホームページ

<http://www.dokyoii.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kyoutyougekkan.htm>

「北海道文化財保護強調月間」の設定の趣旨

私たちの郷土・北海道には、豊かな自然や北国の風土の中で育まれてきた縄文時代の遺跡やアイヌの人たちの伝統的な文化をはじめ、全国各地からの移住や北海道開拓によりもたらされた多様な文化財が数多く残されています。

これらの文化財は、本道の歴史や文化を理解する上で欠くことのできないものであり、現代を生きる私たちに、先人の知恵と技を伝え、日々の暮らしに精神的な豊かさや潤いをもたらす道民の貴重な共有財産です。

しかし、一方で、長い歴史の中で受け継がれてきた文化財の中には、社会構造の変化や少子・高齢化の進行などに伴い、保存や伝承が困難となっているものもあるため、文化財に対する親しみや理解を深めながら、次世代に確実に守り伝えていくことが、いま、課題となっています。

私たち6団体は、市町村教育委員会や関係団体の皆様方と連携協力し、道民の方々が文化財に親しむ環境づくりを推進するとともに、貴重な文化財を地域全体で継承していくため、国の「文化財保護強調週間」や「北海道教育の日」との連動を図り、新たに、毎年10月8日から11月7日までを「北海道文化財保護強調月間」として設定することをここに宣言します。

平成20年7月17日

○えりも町猿留山道「猿留山道を歩く会」



○網走市最寄貝塚「骨角器づくり」



4 アイヌ民俗文化財の保存・伝承

北海道の貴重な文化的所産であるアイヌ文化は、伝承者の高齢化などにより世代間の伝承が難しい現状にあり、記録等を行うことが困難となる可能性があります。このため、北海道教育委員会は、アイヌの人たちの諸文化を調査・記録するとともに、地域の伝承活動を支援し、貴重なアイヌ文化を次世代に継承するため、様々な事業を行っています。

(1) アイヌ民俗文化財調査事業

アイヌ民俗文化財に関わる調査等を行い、報告書を刊行しました。報告書はアイヌ文化に関係する道内外の研究機関及び大学図書館、主要な公立図書館等に配付し、活用を図りました。

[金成(かんなり)マツノート整理・翻訳、刊行]

ユーカラ等の口承文芸をローマ字で記録した伝承者・金成マツのノートを整理・翻訳し、その成果を次の3冊の報告書として刊行しました。

- ・ユーカラシリーズ 52『金成マツ筆録アイヌ叙事詩「肩だけ触れて」「鳥の羽毛の衣」』
切替英雄、高橋靖以 訳
- ・ユーカラシリーズ 53『金成マツ筆録アイヌ叙事詩「年若い私の姉三度土の倉につくられる」』
萱野志朗 訳
- ・ユーカラシリーズ 54『金成マツ筆録アイヌ叙事詩「トゥミアンレウケプ カニアンレウケプ」』
蓮池悦子 訳

[平成 27 年度アイヌ民俗文化財調査報告書]

アイヌの人たちが祖先から伝承してきた生活や生産業に関する民俗技術について、テーマを設定して調査を実施し、報告書を刊行しました。

- ・住に関する民俗技術 2
藤村久和 著

(2) アイヌ民俗文化財保存・伝承活用事業

アイヌ文化への理解を促進し、アイヌ民俗文化財を保存・伝承するため、伝統的な民俗技術及び民俗芸能を学ぶことを目的とした次の事業を実施しました。

また、専門職員等を対象に研修会を開催しました。

- ① アイヌ民俗技術伝承講座：道内
7会場(延べ82講座、延べ参加
人員 834人)
- ② アイヌ民俗芸能伝承講座：道内
7会場(延べ50講座、延べ参加
人員 569人)
- ③ アイヌ文化財専門職員等研修会
(会場：札幌、参加人員：53人)



アイヌ古式舞踊練習風

5 指定文化財の保存整備(国庫補助事業)

指定文化財の保護又は保存整備をはかるため、北海道教育委員会・市町村教育委員会などが主体となって国庫補助を活用し、重要文化財の建物や、歴史資料の保存・修理、史跡・名勝の保存・整備の事業を行いました。

(1) 重要文化財

● 建造物

種別	名称	事業内容	事業者
重要文化財 (建造物)	豊平館	豊平館は、明治13年に建てられた開拓使の手による本格的洋風建築の遺構であり、北海道における明治時代洋風建築の代表作です。 経年劣化等による損傷が大きく、平成24年度から平成27年度まで保存修理工事を実施し、最終年の今年度は屋根、2階バルコニーの工事を中心に実施しました。	札幌市
重要文化財 (建造物)	旧旭川偕行社	旧旭川偕行社は、明治35年に旭川に陸軍第七師団が設営された際に、将校たちの社交場として建設され、現在は旭川市彫刻美術館として保存、再利用されている建造物です。 平成24年度から平成27年度まで保存修理工事を実施し、最終年度の今年度は基礎工事や、壁面の亀裂や漆喰工事等、全体的な修理工事を行いました。	旭川市
重要文化財 (建造物)	旧函館区公会堂	旧函館区公会堂は明治39年に集会所等として工事費の大半を豪商相馬哲平の寄付により建てられました。2階のバルコニーからの絶景と和と洋が融合した優れた意匠で観光客に人気が高い建造物です。今年度、建物の構造調査、耐震診断書を経て保存活用計画などの耐震補強工事に向けた準備を進めました。	函館市
重要文化財 (建造物)	北海道庁 旧本庁舎	明治21年(1888)竣工の煉瓦造地上二階地下一階建の官庁建築物であり、我が国における大規模な煉瓦造建造物の初期遺構です。今年度、建物の構造調査、耐震診断書の作成などの耐震診断業務を実施しました。	北海道

○重要文化財「豊平館」(札幌市)



○重要文化財「旧旭川偕行社」(旭川市)



○重要文化財「旧函館区公会堂」(函館市)



○重要文化財「旧北海道庁旧本庁舎」(札幌市)



● 美術工芸品

種 別	名 称	事 業 内 容	事 業 者
重要文化財 (考古資料)	北海道上之國 勝山館跡出土品	北海道上之國勝山館跡出土品は、15～16世紀(室町時代～安土・桃山時代)の城館跡から出土した、木製品、漆器、金属製品、骨角製品、繊維製品などからなる貴重な考古資料です。 平成26年度から30年度の5年間の計画で、破損物の保存修理事業及び公開・保存を目的とした、保存台及び保存箱の製作を行っています。	上ノ国町
重要文化財 (考古資料)	北海道船泊遺跡 出 土 品	縄文時代後期中葉の集落跡と集団墓地、及び作業場跡等から出土した副葬品で、とりわけ貝製品には、房総半島以南のタカラ貝など、遠隔地から搬入された貝類を素材とした装身具が含まれ、当時の広域な物資交易をよく示す、貴重な資料となっています。 平成26年度から30年度の5年間の計画で、破損物の保存修理事業を行っています。	礼文町
重要文化財 (歴史資料)	開拓使文書	開拓使文書は、開拓使札幌本庁、その前身の箱館府等において、作成、收受、編綴された近代行政文書であり、明治政府による北海道の近代化の諸政策を知る上での貴重な資料です。 平成27年度から35年度の9年間の計画で、破損した原本の保存修理事業を行っています。	北海道

○重要文化財「北海道上之國勝山館跡出土品」(上ノ国町)



○重要文化財「北海道船泊遺跡出土品」(礼文町)



貝平玉

○重要文化財「開拓使文書」(北海道)



(2) 重要伝統的建造物群保存地区・重要文化的景観

種別	名称	事業内容	事業者
重要伝統的建造物群保存地区	函館市元町末広町重要伝統的建造物群保存地区	<p>函館市元町末広地区は旧外国公館や寺院・教会、レンガ造の倉庫群、上下和洋折衷の町家などが建ち並び、異国情緒の濃い町並みを形成しています。</p> <p>この歴史的な町並みを大切に守るため、選定となった平成元年度から建築物所有者の理解と協力を得ながら、伝統的建造物の修理、一般建築物の修景、環境物件の復旧などを継続的に行っています。</p> <p>平成27年度は、旧相馬邸附属土蔵修理事業など5件の修理事業を実施しました。</p>	函館市

重要文化的 景観	アイヌの伝統と 近代開拓による 沙流川流域の 文化的景観	<p>「アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観」は、アイヌ文化の諸要素を現在に至るまでとどめながら、開拓期以降の農林業に伴う土地利用がその上に展開することによって、多文化の重層としての様相を示す極めて貴重な文化的景観です。</p> <p>平成 27 年度は、2 次選定に向け意識の高揚を目的とした普及啓発事業を行いました。</p>	平 取 町
-------------	---------------------------------------	---	-------

○函館市元町末広町重要伝統的建造物群保存地区（函館市）



○沙流川流域の文化的景観



(3) 史跡・名勝・天然記念物

種 別	名 称	事 業 内 容	事 業 者
特別史跡	五 稜 郭 跡	<p>五稜郭は箱館奉行所の防御施設として元治元年(1864)に完成し、日本の建築・土木技術の伝統と西欧の城塞設計の思想が合流した特色ある城郭です。</p> <p>平成 27 年度は、崩落した石垣を復旧するとともに、崩落の可能性のある石垣の定点調査を実施しました。</p>	函 館 市
史 跡	松 前 氏 城 跡 福 山 城 跡 館 城 跡 の うち 福 山 城 跡	<p>福山城は松前城とも呼ばれ、安政元年(1854)に完成した城です。海からの攻撃に備えた台場(砲台)が城内外にあり、また城跡の背後には藩政時代から続く寺町が今も残ります。</p> <p>平成 27 年度は保存活用計画策定のため、周辺の木々の状況等の調査を実施しました。また、今後の整備に向けて二ノ丸地区の発掘調査も実施しました。</p>	松 前 町
史 跡	北 斗 遺 跡	<p>北斗遺跡は釧路湿原を望む台地に位置する、縄文時代から擦文時代の遺跡で、364軒もの竪穴住居跡が現在でも窪みとなって残っています。</p> <p>平成 27 年度は、1軒の竪穴住居を復元する工事を実施しました。</p>	釧 路 市
史 跡	旧 奥 行 白 駅 通 所	<p>旧奥行白駅通所は明治 43 年から昭和 5 年までの間、人馬の継ぎ立てと宿泊、物資の通送等の便宜を図った施設で、主屋 1 棟、馬屋 2 棟、倉庫 1 棟が現存しています。</p> <p>平成 27 年度は、主屋を修理するための事前調査や収蔵資料の整理を実施しました。</p>	別 海 町
史 跡	入 江 ・ 高 砂 貝 塚	<p>入江・高砂貝塚は噴火湾を望む台地上に隣接して位置し、周辺の自然環境や当時の生業、縄文人の形質や葬法などを知る上で重要な貝塚です。</p> <p>平成 27 年度は、今後の高砂貝塚整備に向けた水質調査や造成を実施しました。</p>	洞 爺 湖 町

史 跡	常 呂 遺 跡	<p>常呂遺跡は、オホーツク海沿岸地域の常呂川河口付近からサロマ湖東岸に及ぶ1,283,779 m²の広大な遺跡で、地表に窪みとして残る竪穴住居跡は2,700ヶ所を超え、独特の景観を作り出しています。</p> <p>平成27年度は、整備に向けた計画を策定するとともに、広報資料を作成し、講演会を開催しました。</p>	北見市
史 跡	様 似 山 道	<p>様似山道は、幕末のロシアの南下政策に対する幕府の北方警備強化を目的とした海岸線の迂回路として、寛政11年(1799)に江戸幕府が整備した山道です。</p> <p>平成27年度は、山道の測量調査を実施するとともに、文献調査や様似山道歩こう会、様似山道セミナーを開催しました。</p>	様似町
史 跡	猿 留 山 道	<p>猿留山道は様似山道とともに、寛政11年(1799)に最上徳内・中村小市郎らにより開削された山道です。</p> <p>平成27年度は、山道の測量調査を実施するとともに、文献調査や山道を歩く会を開催しました。</p>	えりも町
特別天然 記念物	阿寒湖のマリモ	<p>世界でここにしか残されていない大規模なマリモの群集ですが、藻が多くなり生息環境の悪化が心配されています。</p> <p>平成27年度は、生育状況等の調査を実施し、今後の保存・回復に向けた科学委員会も開かれました。</p>	釧路市
天然記念物	標 津 湿 原	<p>独特の環境から多数の動植物が棲息する湿原ですが、過去に掘られた排水路や周辺環境の変化から乾燥化が心配されています。</p> <p>平成27年度は湿原内の水環境・植生等の調査が実施され、報告書を刊行しました。</p>	標津町



○釧路市史跡北斗遺跡
復元した竪穴住居

○史跡常呂遺跡講演会
(北見市)



○様似山道歩こう会活動の様子
(様似町)

○特別天然記念物阿寒湖のマリモ
水草の伐採作業の様子 (釧路市)



6 埋蔵文化財保護のための事前協議

土木工事などによって土地を掘り返すと、土地に埋まっている文化財（埋蔵文化財）を破壊してしまうことがあります。

このような破壊を避けるため、開発・建設などの事業者と北海道教育委員会及び市町村教育委員会が前もって協議を行ない、工事が埋蔵文化財に影響を与えるかどうかを判断したうえで、できる限りその取り扱いに関する調整を行なっています。これを「埋蔵文化財保護のための事前協議」と呼びます。

工事の前に、まず予定地を歩いて文化財の有無などを確かめることを「所在調査」と呼びます。計画中の工事などが埋蔵文化財に影響を与えるかどうか判断する目的で、実際に一部を掘って、文化財の有無・深さ・内容などを調べることを「試掘調査」と言います。

北海道教育委員会ではこのような工事から埋蔵文化財を保護するため、5,862.336haについて所在調査を、122.764haについて試掘調査を実施し、開発計画の変更や事前の発掘調査を求めるなどの調整を行いました。

埋蔵文化財保護のための事前協議の流れ（概要）



遺跡がありそうな地形かどうか判断します。 土器・石器などが落ちていないか
(川や海のそばの高台は特に要注意!) 実際に現地を歩いてみて調査します。

→ 遺跡が所在しない場合は着工



⑤ 試掘調査 (市町村・北海道教育委員会実施)



重機・スコップなどで地面を掘ってみます。 掘った土の中に土器・石器等があるか調べます。



昔の家(竪穴住居)やお墓の跡があるか調べます。(出土した土器 約2000年前のもの)
(中央の黒い土のシミが縄文時代の穴の跡)

→ 遺跡が所在しない場合は着工可

⑥ 試掘調査の結果と工事の内容から、どのような保護が必要か判断します。

(北海道教育委員会など)

- (1) 現状保存 工事計画を変更して遺跡を保存する。
- (2) 発掘調査 工事の前に発掘調査を行う。
- (3) 工事立会 工事の際に市町村・北海道教育委員会の職員が立ち会う。
- (4) 慎重工事 遺跡に影響の少ない工事を行う。



⑦ 工事等の計画者に文書でお知らせします。

7 埋蔵文化財の保護(国庫補助事業)

開発が予想される地域の埋蔵文化財の所在・範囲などを明らかにし、埋蔵文化財を保護するため、市町村教育委員会が主体となって国庫補助を活用し、発掘調査・分布調査や普及公開事業などを行いました。

種別	名称	事業内容	事業者
埋蔵文化財	市内遺跡	開発行為が予想される5件の所在調査と16件の試掘調査を行い、事業者との調整を図りました。	札幌市
埋蔵文化財	市内遺跡	史跡キウス周堤墓群の遺跡の広がりを把握するため、キウス6号周堤墓の周辺区域を対象に保存目的の試掘調査を実施しました。調査の結果、縄文後期中葉の「人為堆積土(盛土遺構か)」を伴う集落やキウス周堤墓群と同時期と思われる墓の存在が明らかになるなど、重要な成果が得られました。	千歳市
埋蔵文化財	市内遺跡	個人住宅の建設に先だって発掘調査を行い、縄文中期や続縄文文化期後半の遺構・遺物等を確認しました。各種の開発事業に先立って試掘調査4件、市内に所在する埋蔵文化財の範囲・内容等を確認する詳細分布調査2件を実施し、縄文時代の遺構・遺物等を確認しました。	恵庭市
埋蔵文化財	市内遺跡	苫東柏原地区で試掘調査を行い、縄文時代の3箇所が新たに発見されました。また、柏原14遺跡と柏原26遺跡については面積を確定しました。	苫小牧市
埋蔵文化財	市内遺跡	絵柄貝塚の詳細分布調査を行い、縄文後期及び続縄文文化期以降の貝層を確認しました。貝層からは縄文後期前葉の人骨1体が出土しました。	室蘭市
埋蔵文化財	市内遺跡	史跡垣ノ島遺跡の主要遺構である盛土遺構について範囲や厚さ、構造等の詳細確認を行うための調査を実施しました。調査の結果、盛土の基底面や通路状の痕跡などを検出し、構築時期や接合部の状況、最終形状の確認など、多くの情報が得られました。	函館市
埋蔵文化財	市内遺跡	市内で計画されている草地整備事業に先立って3件の試掘調査を実施し、埋蔵文化財の有無、範囲等を確認しました。	稚内市
埋蔵文化財	町内遺跡	町内で計画されている各種の開発行為に先立ち、5件の試掘調査を実施し、縄文時代の遺跡2か所が新たに発見されました。	美幌町
埋蔵文化財	町内遺跡	勝山館跡出土遺物の公開活用を目的として、金属製品・木製品・骨角器2,429点に合成樹脂をしみ込ませるなどの保存処理を行いました。	上ノ国町

埋蔵文化財	町内遺跡	チャシコツ岬上遺跡で確認されている竪穴住居跡群のうち、自然崩壊のおそれがある1軒の発掘調査を実施し、オホーツク文化末期の焼失住居跡であることが確認されました。この竪穴住居跡の北側では同時期の積石墓1基を検出しました。	斜里町
埋蔵文化財	町内遺跡	史跡鷲ノ木遺跡の環状列石から北へ約50mの台地端部に位置する窪地の調査を行い、当時の人々の活動領域であることがわかりました。平成19年度に一部が発見されていた竪穴墓域2号の規模等を確認するための調査を行いました。	森町
埋蔵文化財	地域の特色ある埋蔵文化財活用	千歳市埋蔵文化財センターで縄文人の生活の体験学習会や土器・石器・勾玉作り、北海道・北東北の縄文遺跡群の構成資産をテーマにした企画展・講演会を実施しました。また、史跡キウス周堤墓群パンフレットの外国語版を作成しました。	千歳市
埋蔵文化財	地域の特色ある埋蔵文化財活用	史跡北黄金貝塚や縄文文化を紹介する講座・展示会・シンポジウム・セミナーやイベント等を開催し、市内の遺跡を紹介するハンドブック等の広報資料を作成しました。また、出土品を保管するための収蔵庫の工事を行いました。	伊達市
埋蔵文化財	地域の特色ある埋蔵文化財活用	松法川北岸遺跡出土品の積極的な公開・活用を図り、町内の埋蔵文化財への関心・理解を深めるため、重要文化財指定記念講演会・シンポジウム、町内外巡回パネル展等の事業、出土品のリーフレット・写真集の作成、台帳作成等の再整理作業を行いました。	羅臼町
埋蔵文化財	地域の特色ある埋蔵文化財活用	遠軽町埋蔵文化財センターで石器づくり・勾玉づくり等の体験学習会や講演会、展示会を開催し、黒曜石の露頭がある赤石山の見学会を実施しました。	遠軽町
埋蔵文化財	地域の特色ある埋蔵文化財活用	目梨泊遺跡のオホーツク文化に代表される、町内の埋蔵文化財を広く公開し、地域の先史文化を学ぶ学習教材として活用するため、枝幸町立資料館施設「オホーツクミュージアムえさし」の展示改修工事を行いました。	枝幸町
埋蔵文化財	地域の特色ある埋蔵文化財活用	上ノ国市街地遺跡の出土遺物を対象に、器種分類・集計作業等の再整理を行いました。また、町内の文化財を紹介するパンフレットを作成しました。	上ノ国町



○千歳市キウス13遺跡 発掘調査の様子
(竹串を立てたところに人為堆積土の遺物
があります)



○ 室蘭市絵鞆貝塚
検出された縄文人骨



○ 斜里町チャシコツ岬上遺跡
積石墓の検出状況

8 発掘調査

平成 27 年度は北海道内で 69 件、85,184 m²の発掘調査が実施されました。内訳は次のとおりです。

調査主体	件数	調査面積
市町村教育委員会	35	25,984 m ²
公益財団法人北海道埋蔵文化財センター	21	58,498 m ²
大学・博物館等	13	702 m ²

また、平成 27 年度に北海道内の市町村教育委員会が実施した発掘調査の状況や出土遺物などについては、北海道教育委員会のホームページで公開していますので、御覧ください。

URLは次のとおりです。

<http://www.dokyoii.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/h27gaiyou.htm>



- 函館市
電々公社合宿舎遺跡
検出竪穴住居跡



- 浜頓別町
ブタウス遺跡
土壙墓内遺物出土状況

1 文化財

(1) 文化財の指定状況(国指定・道指定)

区分	種別	地域を定めず	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室	国保有	計
国指定	国宝							1										1
	重要文化財			15	3	3	1	13	5	1	2	2	3	1	2	1	5	57
	重要無形文化財																	0
	重要有形民俗文化財			1			1	1			1							4
	重要無形民俗文化財			1														1
	特別史跡							1										1
	史跡		1	8	7	6	1	10	2		1		4	2	5	4		51
	名勝(*1)			*1		*2	*3	1		1		*1	1 *1	*1				3
	特別天然記念物	1		1		1	1			1					1			6
	天然記念物	14	2	2	2	1	2	2	2	2	2		1	1	5	3		41
	小計	15	3	28	12	11	6	29	9	5	6	2	9	4	13	8	5	165
選定	重要伝統的建造物群保存地区							1										1
	重要文化的景観						1											1
	小計	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
登録	有形文化財(建造物)		25	27	14	6	3	19	1	16		3	9	7	1	8		139
	記念物							1										1
	小計	0	25	27	14	6	3	20	1	16	0	3	9	7	1	8	0	140
道指定	有形文化財		4	8	5	5	2	32	7	1	2	3	4	4	2	3		82
	有形民俗文化財			2				1	3									6
	無形民俗文化財							2	5									7
	史跡		1		3	2	2	4	1	1		2	5	4	1			26
	名勝									1			1					2
	天然記念物		5			1	1	2	1	1		5	5	7	1	4		33
	小計	0	10	10	8	8	5	41	17	4	2	10	15	15	4	7	0	156
合計	15	38	65	34	25	15	91	27	25	8	15	33	26	18	23	5	463	

※ 国指定名勝(ヒリカカ)の指定件数は1件でカウントされるため、*印の件数は計、小計に加算されない。

※ 資料編のデータは、特に記載がない限り、平成28年3月31日現在のもの。

(2) 国指定・選定文化財一覧

国指定文化財とは、文化財保護法に基づき、文化審議会の答申を受けて、文部科学大臣が指定して保存を図る文化財です。

〔国宝〕

No.	名 称	分 野	所 在 地	指定年月日
1	土偶（北海道函館市著保内野遺跡出土）	考古資料	函館市	H19.6.8

〔重要文化財〕

No.	名 称	分 野	所 在 地	指定年月日
1	太刀 銘国俊	工 芸	札幌市	S8.1.23
2	八窓庵（旧舎那院忘筌）	建 造 物	札幌市	S11.9.18
3	福山城（松前城）本丸御門	建 造 物	松前町	S16.5.8
4	紙本墨書後鳥羽天皇宸翰熊野懷紙（山路眺望暮里神楽）	書跡・典籍	帯広市	S25.8.29
5	刀 無銘伝来国行	工 芸	札幌市	S31.6.28
6	土偶（北海道室蘭市輪西町出土）	考古資料	室蘭市	S37.6.21
7	豊平館	建 造 物	札幌市	S39.5.26
8	木造大日如来坐像（本堂安置）	彫 刻	函館市	S42.6.15
9	北海道庁旧本庁舎	建 造 物	札幌市	S44.3.12
10	旧日本郵船株式会社小樽支店	建 造 物	小樽市	S44.3.12
11	北海道大学農学部（旧東北帝国大学農科大学）第二農場	建 造 物	札幌市	S44.8.19
12	旧札幌農学校演武場（時計台）	建 造 物	札幌市	S45.6.17
13	旧三戸部家住宅	建 造 物	伊達市	S46.12.28
14	旧花田家番屋	建 造 物	小平町	S46.12.28
15	旧下ヨイチ運上家	建 造 物	余市町	S46.12.28
16	旧中村家住宅	建 造 物	江差町	S46.12.28
17	太刀川家住宅店舗	建 造 物	函館市	S46.12.28
18	人形装飾異形注口土器（北海道上磯郡上磯町茂辺地出土）	考古資料	北斗市	S48.6.6
19	旧函館区公会堂	建 造 物	函館市	S49.5.21
20	動物形土製品（北海道千歳市美々第四遺跡出土）	考古資料	千歳市	S54.6.6
21	函館ハリストス正教会復活聖堂	建 造 物	函館市	S58.6.2
22	土面（北海道千歳市真々地町ママチ遺跡第三一〇号土壙墓出土）	考古資料	千歳市	S63.6.6
23	旧旭川偕行社	建 造 物	旭川市	H1.5.19
24	北海道大学農学部植物園・博物館	建 造 物	札幌市	H1.5.19
25	北海道美利河1遺跡出土品	考古資料	今金町	H3.6.21
26	北海道湯の里4遺跡土壙出土品	考古資料	知内町	H3.6.21
27	龍雲院	建 造 物	松前町	H4.1.21
28	旧笹浪家住宅	建 造 物	上ノ国町	H4.1.21

29	正行寺本堂	建造物	厚岸町	H4. 1. 21
30	法源寺山門	建造物	松前町	H5. 4. 20
31	上國寺本堂	建造物	上ノ国町	H5. 4. 20
32	北海道江別太遺跡出土品	考古資料	江別市	H5. 6. 10
33	北海道元江別1遺跡土壙墓出土品	考古資料	江別市	H7. 6. 15
34	北海道コタン温泉遺跡出土品	考古資料	八雲町	H9. 6. 30
35	北海道目梨泊遺跡出土品	考古資料	枝幸町	H12. 6. 27
36	遺愛学院（旧遺愛女学校） 旧宣教師館 本館	建造物	函館市	H13. 6. 15 H16. 12. 10
37	旧手宮鉄道施設	建造物	小樽市	H13. 11. 14
38	北海道志海苔中世遺構出土銭	歴史資料	函館市	H15. 5. 29
39	旧本間家住宅	建造物	増毛町	H15. 12. 25
40	北海道有珠モシリ遺跡出土品	考古資料	伊達市	H16. 6. 8
41	北海道有珠モシリ遺跡出土品	考古資料	伊達市	H16. 6. 8
42	箱館奉行所文書	歴史資料	札幌市（北海道立文書館）	H16. 6. 8
43	北海道美々8遺跡出土品	考古資料	江別市（北海道立埋蔵文化財センター）	H17. 6. 9
44	蝦夷三官寺善光寺関係資料	歴史資料	伊達市	H17. 6. 9
45	蝦夷三官寺等澗院関係資料	歴史資料	様似町	H17. 6. 9
46	蝦夷三官寺国泰寺関係資料	歴史資料	厚岸町	H17. 6. 9
47	北海道カリンバ遺跡墓坑出土品	考古資料	恵庭市	H18. 6. 9
48	銀板写真（松前勘解由と従者像）附添状	歴史資料	松前町	H18. 6. 9
49	大谷派本願寺函館別院	建造物	函館市	H19. 12. 4
50	北海道上之国勝山館跡出土品	考古資料	上ノ国町	H20. 7. 10
51	北海道白滝遺跡群出土品	考古資料	遠軽町	H23. 6. 27
52	北海道船泊遺跡出土品	考古資料	礼文町	H25. 6. 19
53	旧開拓使工業局庁舎	建造物	札幌市	H25. 8. 7
54	開拓使文書	歴史資料	札幌市	H26. 8. 21
55	北海道松法川北岸遺跡出土品	考古資料	羅臼町	H27. 9. 4
56	旧網走監獄	建造物	網走市	H28. 2. 9
57	旧網走刑務所二見ヶ岡刑務支所（二見ヶ岡農場）	建造物	網走市	H28. 2. 9

※ 国保有重要文化財（No.6・18 東京国立博物館保管、No.22 北海道立埋蔵文化財センター、No.33 江別市郷土資料館、No.40 伊達市教育委員会）

〔重要有形民俗文化財〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	アイヌのまるきぶね	札幌市	S32. 6. 3
2	アイヌの生活用具コレクション	函館市	S34. 5. 6
3	留萌のニシン漁撈(旧佐賀家漁場)用具	留萌市	H7. 12. 26
4	北海道二風谷および周辺地域のアイヌ生活用具コレクション	平取町	H14. 2. 12

〔重要無形民俗文化財〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	アイヌ古式舞踊	白老町・平取町・新ひだか町・旭川市 浦河町・帯広市・釧路市・札幌市・千歳市 むかわ町・日高町・新冠町・様似町 弟子屈町・白糠町	S59. 1. 21

〔特別史跡〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	五稜郭跡	函館市	S27. 3. 29

〔史 跡〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	手宮洞窟	小樽市	T10. 3. 3
2	四稜郭	函館市	S9. 1. 22
3	東蝦夷地南部藩陣屋跡	室蘭市	S9. 5. 1
	モロラン陣屋跡	長万部町	S49. 8. 22
	ヲシヤマンベ陣屋跡	森町	S49. 8. 22
4	志苔館跡	函館市	S9. 8. 9
5	松前氏城跡 福山城跡	松前町	S10. 6. 7
	館城跡	厚沢部町	H14. 9. 20
	松前氏城跡 福山城跡(追加指定)	松前町	H25. 10. 17
	館城跡(追加指定)	厚沢部町	H25. 10. 17
	松前氏城跡 福山城跡(追加指定)	松前町	H27. 3. 10
—	モシリヤ砦跡 (H. 27. 3. 17 釧路川流域チャシ跡群に統合)	釧路市	
—	鶴ヶ岱チャランケ砦跡(H. 27. 3. 17 釧路川流域チャシ跡群に統合)	釧路市	
6	春採台地堅穴群	釧路市	S10. 12. 24
7	桂ヶ岡砦跡	網走市	S10. 12. 24
8	最寄貝塚	網走市	S11. 12. 16

9	フゴッペ洞窟	余市町	S28. 11. 14
10	音江環状列石	深川市	S31. 12. 28
11	忍路環状列石	小樽市	S36. 3. 10
12	松前藩戸切地陣屋跡	北斗市	S40. 3. 18
13	白老仙台藩陣屋跡	白老町	S41. 3. 3
14	開拓使札幌本庁本庁舎跡および旧北海道庁本庁舎	札幌市	S42. 12. 15
15	東釧路貝塚	釧路市	S45. 7. 22
16	旧下ヨイチ運上家	余市町	S48. 7. 31
17	国泰寺跡	厚岸町	S48. 10. 29
18	常呂遺跡	北見市	S49. 3. 12
19	善光寺跡	伊達市	S49. 5. 23
20	標津遺跡群 伊茶仁カリカリス遺跡 古道遺跡 三本木遺跡	標津町	S51. 6. 21 S54. 5. 22 H1. 10. 20
21	西月ヶ岡遺跡	根室市	S51. 8. 28
22	大館跡	松前町	S52. 4. 5
23	上之国館跡 花沢館跡 洲崎館跡 勝山館跡	上ノ国町	S52. 4. 12 S52. 4. 12 H18. 3. 31
24	北斗遺跡	釧路市	S52. 7. 14
25	ウサクマイ遺跡群	千歳市	S54. 5. 23
26	キウス周堤墓群	千歳市	S54. 10. 23
27	オタフンベチャシ跡	浦幌町	S56. 8. 29
28	松前藩主松前家墓所	松前町	S56. 11. 21
29	旧余市福原漁場	余市町	S57. 2. 12
30	琴似屯田兵村兵屋跡	札幌市	S57. 5. 7
31	茂別館跡	北斗市	S57. 7. 3
32	根室半島チャシ跡群	根室市	S58. 4. 26
33	旧島松駅遺所	北広島市	S59. 7. 25
34	静川遺跡	苫小牧市	S62. 1. 8
35	ユクエピラチャシ跡	陸別町	S62. 9. 8
36	北黄金貝塚 北黄金貝塚(追加指定)	伊達市 伊達市	S62. 12. 25 H25. 10. 17
37	入江・高砂貝塚 入江・高砂貝塚(追加指定)	洞爺湖町 洞爺湖町	S63. 5. 13 H23. 9. 21
38	荘内藩ハママシケ陣屋跡	石狩市	S63. 5. 17
39	白滝遺跡群	遠軽町	H1. 1. 9
40	ピリカ遺跡	今金町	H6. 4. 26

41	旧留萌佐賀家漁場	留萌市	H9. 3. 11
42	シベチャリ川流域チャシ跡群およびアッペツチャシ跡	新ひだか町 日高町	H9. 12. 2
43	江別古墳群	江別市	H10. 9. 11
44	大谷地貝塚	余市町	H12. 11. 20
45	大船遺跡	函館市	H13. 8. 13
46	カリンバ遺跡	恵庭市	H17. 3. 2
47	鷺ノ木遺跡 鷺ノ木遺跡(追加指定)	森町 森町	H18. 1. 26 H24. 9. 19
48	垣ノ島遺跡	函館市	H23. 2. 7
49	旧奥行臼駅通所	別海町	H23. 9. 21
50	釧路川流域チャシ跡群 (※モシリヤ砦跡、鶴ヶ岱チャランケ砦跡を統合するとともに周辺9 チャシを追加)	釧路市, 釧路 町, 弟子屈町 標茶町	H27. 3. 17
51	旧歌棄佐藤家漁場	寿都町	H28. 3. 1

[名 勝]

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	天都山	網走市	S13. 12. 14
2	旧岩船氏庭園 (香雪園)	函館市	H13. 8. 13
3	ピリカノカ 九度山 (クトゥンヌブリ)	名寄市	H21. 7. 23
	黄金山 (ピンネタイオルシベ)	石狩市	H21. 7. 23
	神威岬 (カムイエトゥ)	枝幸町・浜頓別町	H22. 2. 22
	襟裳岬 (オンネエンルム)	えりも町	H22. 8. 5
	瞰望岩 (インカルシ)	遠軽町	H23. 2. 7
	カムイチャシ	豊浦町	H23. 2. 7
	絵鞆半島外海岸	室蘭市	H24. 1. 24
	十勝幌尻岳 (ポロシリ)	帯広市・中札内村	H24. 9. 19
	幌尻岳 (ポロシリ)	新冠町・平取町	H25. 10. 17
オキクルミのチャシ及びムイノカ	平取町	H26. 3. 18	

[特別天然記念物]

No.	名 称	分 野	所 在 地	指定年月日
1	阿寒湖のマリモ	植 物	釧路市	S27. 3. 29
2	野幌原始林	植 物	北広島市	S27. 3. 29
3	アポイ岳高山植物群落	植 物	様似町	S27. 3. 29
4	昭和新山	地質鉱物	壮瞥町	S32. 6. 19
5	大雪山	天然保護 区域	上川町・東川町・ 美瑛町・新得町	S52. 3. 15
6	タンチョウ	動 物	主な生息地北海道	S27. 3. 29

[天然記念物]

No.	名 称	分 野	所 在 地	指定年月日
1	後方羊蹄山の高山植物帯	植 物	倶知安町・京極町・ 喜茂別町・真狩村・ ニセコ町	T10. 3. 3
2	円山原始林	植 物	札幌市	T10. 3. 3
3	藻岩原始林 (植物)	植 物	札幌市	T10. 3. 3
4	ヒノキアスナロおよびアオトドマツ自生地	植 物	江差町	T11. 10. 12
5	霧多布泥炭形成植物群落	植 物	浜中町	T11. 10. 12
6	登別原始林	植 物	登別市	T13. 12. 9
7	鶉川ゴヨウマツ自生北限地帯	植 物	厚沢部町	S3. 2. 7
8	オオミズナギドリ繁殖地	動 物	松前町	S3. 3. 24
9	歌オブナ自生北限地帯	植 物	黒松内町	S3. 10. 22
10	春採湖ヒブナ生息地	動 物	釧路市	S12. 12. 21
11	北海道犬	動 物	—	S12. 12. 21
12	天売島海鳥繁殖地	動 物	羽幌町	S13. 8. 8
13	名寄鈴石	地質鉱物	名寄市	S14. 9. 7
14	名寄高師小僧	地質鉱物	名寄市	S14. 9. 7
15	根室車石	地質鉱物	根室市	S14. 9. 7
16	落石岬のサカイツツジ自生地	植 物	根室市	S15. 2. 10
17	幌満ゴヨウマツ自生地	植 物	様似町	S18. 8. 24
18	和琴ミンミンゼミ発生地	動 物	弟子屈町	S26. 6. 9
19	大黒島海鳥繁殖地	動 物	厚岸町	S26. 6. 9
20	ウスバキチョウ	動 物	主な生息地北海道	S40. 5. 12
21	ダイセツタカネヒカゲ	動 物	主な生息地北海道	S40. 5. 12
22	アサヒヒヒョウモン	動 物	主な生息地北海道	S40. 5. 12
23	クマゲラ	動 物	主な生息地北海道	S40. 5. 12
24	イヌワシ	動 物	主な生息地宮城県	S40. 5. 12
25	カラフトルリシジミ	動 物	主な生息地北海道	S42. 5. 2
26	釧路湿原	天然保護 区域	標茶町・鶴居村・ 釧路町	S42. 7. 6
27	オジロワシ	動 物	主な生息地北海道・ 新潟県	S45. 1. 23
28	オオワシ	動 物	主な生息地北海道・ 石川県・福井県	S45. 1. 23
29	沙流川源流原始林	天然保護 区域	日高町	S45. 12. 4
30	エゾシマフクロウ	動 物	主な生息地北海道	S46. 5. 19
31	コクガン	動 物	主な生息地北海道・ 青森県・秋田県	S46. 5. 19

32	ヒシクイ	動物	主な生息地北海道・青森県・宮城県・新潟県・石川県	S46. 6. 28
33	マガン	動物	主な生息地北海道・青森県・宮城県・新潟県・石川県	S46. 6. 28
34	女満別湿生植物群落	植物	大空町	S47. 6. 14
35	松前小島	天然保護区域	松前町	S47. 12. 12
36	ヒメチャマダラセセリ	動物	主な生息地北海道	S50. 2. 13
37	エゾミカサリュウ化石	地質鉱物	三笠市	S52. 7. 16
38	標津湿原	天然保護区域	標津町	S54. 8. 7
39	焼尻の自然林（植物）	植物	羽幌町	S58. 8. 30
40	夕張岳の高山植物群落および蛇紋岩メランジュ帯	植物・地質鉱物	夕張市・南富良野町	H8. 6. 19
41	オンネトー湯の滝マンガン酸化物生成地	植物・地質鉱物	足寄町	H12. 9. 6

〔重要伝統的建造物群保存地区〕

No.	名 称	所 在 地	選定年月日
1	函館市元町末広町	函館市	H1. 4. 21

〔重要文化的景観〕

No.	名 称	所 在 地	選定年月日
1	アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観	平取町	H19. 7. 16

・国指定文化財一覧は→

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/bun-hogo-bunkagaiyo.htm>

（３）道指定文化財一覧

道指定文化財とは、北海道文化財保護条例に基づき、北海道文化財保護審議会の答申を受けて、北海道教育委員会が指定して保存を図る文化財です。

〔有形文化財〕

No.	名 称	分 野	所 在 地	指定年月日
1	樽岸出土の石器	考古資料	函館市	S32. 12. 20
2	野幌屯田兵第二中隊本部	建 造 物	江別市	S33. 4. 10
3	阿弥陀如来立像	彫 刻	恵庭市	S34. 2. 24
4	釈迦如来立像	彫 刻	伊達市	S34. 2. 24
5	夷酋列像粉本	絵 画	函館市	S34. 2. 24
6	にしん漁場建築	建 造 物	小樽市	S35. 5. 31
7	旧松前城本丸表御殿玄関	建 造 物	松前町	S38. 7. 26

8	旧函館博物館一号	建 造 物	函館市	S38. 7. 26
9	旧函館博物館二号	建 造 物	函館市	S38. 7. 26
10	旧金森洋物店	建 造 物	函館市	S38. 7. 26
11	茅部の鯡供養塔	歴史資料	森町	S38. 12. 24
12	琴似屯田兵屋	建 造 物	札幌市	S39. 10. 3
13	アイヌ丸木舟および推進具	考古資料	苫小牧市	S42. 6. 22
14	東蝦新道記	歴史資料	広尾町	S43. 1. 18
15	女満別石刃鎌遺跡出土の遺物	考古資料	大空町	S43. 1. 18
16	大樹遺跡出土の遺物	考古資料	大樹町	S43. 1. 18
17	漁場建築佐藤家	建 造 物	寿都町	S43. 3. 29
18	岩内東山円筒文化遺跡出土の遺物	考古資料	岩内町	S43. 3. 29
19	静内御殿山墳墓群出土の遺物	考古資料	新ひだか町	S43. 3. 29
20	石崎八幡神社の鰐口	歴史資料	函館市	S43. 3. 29
21	釈迦涅槃図蠣崎波響筆	絵 画	函館市	S43. 3. 29
22	椴法華出土の尖底土器	考古資料	函館市	S43. 3. 29
23	和田屯田兵村の被服庫	建 造 物	根室市	S43. 12. 18
24	日ノ浜遺跡出土の動物土偶	考古資料	函館市	S45. 2. 12
25	刀銘源正雄	工 芸	函館市	S45. 2. 12
26	新羅之記録	古 文 書	奥尻町	S45. 2. 12
27	本願寺駅逕	建 造 物	沼田町	S46. 3. 5
28	徳山大神宮	建 造 物	松前町	S46. 3. 5
29	住吉町遺跡出土の遺物	考古資料	函館市	S46. 3. 5
30	板碑（貞治の碑）	考古資料	函館市	S46. 3. 5
31	サイベ沢遺跡出土の遺物	考古資料	函館市	S46. 3. 5
32	板碑（戸井町の碑）	考古資料	函館市	S46. 3. 5
33	美唄屯田兵屋	建 造 物	美唄市	S47. 2. 17
34	礼文島出土の歯牙製女性像及び動物像	考古資料	礼文町	S47. 2. 17
35	太田屯田兵屋	建 造 物	厚岸町	S49. 2. 28
36	天内山遺跡出土の遺物	考古資料	余市町	S51. 5. 21
37	円空作観音像	彫 刻	釧路市	S52. 3. 11
38	円空作観音像	彫 刻	広尾町	S52. 3. 11
39	円空作十一面観音立像	彫 刻	上ノ国町	S52. 3. 11
40	円空作聖観音像	彫 刻	伊達市	S52. 3. 11
41	松前屏風	絵 画	松前町	S52. 9. 12
42	亦稚貝塚出土の遺物	考古資料	利尻町	S54. 3. 29
43	旧小納家住宅	建 造 物	羽幌町	S54. 11. 27
44	札幌市K-446遺跡出土の遺物	考古資料	札幌市	S55. 8. 12

45	南川遺跡出土の遺物	考古資料	せたな町	S56. 3. 31
46	ホロナイボ遺跡出土の遺物	考古資料	枝幸町	S56. 10. 29
47	砂館神社本殿	建造物	上ノ国町	S60. 3. 30
48	薙刀銘堀井正次	工芸	松前町	S60. 3. 30
49	熊石の山海漁獵供養塔	歴史資料	八雲町	S60. 3. 30
50	不動明王立像	彫刻	松前町	S60. 3. 30
51	旧北海道庁函館支庁庁舎	建造物	函館市	S60. 3. 30
52	旧開拓使函館支庁書籍庫	建造物	函館市	S60. 3. 30
53	旧永山武四郎邸	建造物	札幌市	S62. 11. 27
54	木造阿弥陀如来立像	彫刻	松前町	S63. 9. 10
55	木造地藏菩薩立像	彫刻	八雲町	S63. 9. 10
56	幌加川遺跡出土の石器群	考古資料	遠軽町	H3. 3. 30
57	木造日蓮聖人坐像	彫刻	松前町	H4. 3. 31
58	法華寺寛保津波の碑	歴史資料	江差町	H4. 3. 31
59	正覚院寛保津波の碑	歴史資料	江差町	H4. 3. 31
60	旧檜山爾志郡役所庁舎	建造物	江差町	H4. 3. 31
61	入江馬頭観世音碑	歴史資料	洞爺湖町	H4. 3. 31
62	木造五百羅漢像	彫刻	小樽市	H6. 2. 9
63	奥行白駒通	建造物	別海町	H6. 6. 3
64	滝里遺跡群出土遺物	考古資料	芦別市	H12. 4. 14
65	絵馬カムイノミの図	絵画	豊頃町	H13. 3. 30
66	光明寺寛保津波の碑	歴史資料	松前町	H13. 3. 30
67	泉龍院寛保津波の碑	歴史資料	松前町	H13. 3. 30
68	無量寺寛保津波の碑	歴史資料	八雲町	H13. 3. 30
69	宮歌村文書	古文書	福島町	H16. 9. 22
70	木造十一面観音立像	彫刻	苫前町	H19. 3. 20
71	赤彩注口土器	考古資料	八雲町	H19. 3. 20
72	初田牛 20 遺跡出土の土偶及び墓坑出土遺物	考古資料	根室市	H20. 3. 18
73	大乘妙典一千部供養塔	歴史資料	北斗市	H22. 3. 16
74	知里幸恵ノート	歴史資料	江別市 (北海道立図書館)	H22. 3. 16
75	大麻 3 遺跡出土の土偶	考古資料	江別市	H24. 3. 19
76	二風谷遺跡群出土品	考古資料	平取町	H24. 3. 19
77	斜里朱円周提墓群出土品	考古資料	斜里町	H25. 3. 29
78	入江貝塚出土品	考古資料	洞爺湖町	H26. 3. 31
79	北海道家庭学校礼拝堂	建造物	遠軽町	H27. 3. 31
80	屯田兵絵物語 附 屯田絵巻	歴史資料	旭川市	H28. 3. 31
81	滝川屯田兵文書(第二大隊第三中隊・第四中隊文書)	歴史資料	滝川市	H28. 3. 31

82	新琴似村屯田兵村記録	歴史資料	札幌市	H28. 3. 31
----	------------	------	-----	------------

〔有形民俗文化財〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	江差姥神町横山家	江差町	S38. 12. 24
2	江差町姥神神社祭礼山車神功山人形および附属品	江差町(神功山保存会)	S38. 12. 24
3	江差町姥神神社祭礼山車松宝丸	江差町(松宝丸保存会)	S38. 12. 24
4	求福山山車の人形その他附属品	松前町	S52. 9. 11
5	石狩弁天社の鮫様(妙亀・法鮫大明神像)	石狩市	H19. 3. 20
6	金龍寺の鮫様(龍神・妙亀菩薩・鮫神像)	石狩市	H19. 3. 20

〔無形民俗文化財〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	江差沖揚げ音頭	江差町	S52. 3. 11
2	五勝手鹿子舞	江差町	S52. 3. 11
3	松前祇園ばやし	松前町	S52. 3. 11
4	江差追分	江差町	S52. 4. 13
5	江差三下り	江差町	S57. 6. 30
6	江差餅つき囃子	江差町	S57. 6. 30
7	松前神楽	松前町 福島町 函館市 小樽市	H20. 6. 13

〔史 跡〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	地鎮山環状列石	小樽市	S25. 8. 28
2	西崎山環状列石	余市町	S26. 9. 6
3	浦幌新吉野台細石器遺跡	浦幌町	S26. 9. 6
4	宗谷の護国寺跡	稚内市	S32. 1. 29
5	斜里朱円周堤墓群 (H25. 3. 29「斜里朱円周堤墓及び出土遺物」から名称変更)	斜里町	S32. 1. 29
6	神居古潭竪穴住居遺跡	旭川市	S32. 12. 20
7	静内御殿山墳墓群	新ひだか町	S38. 12. 24
8	門別富仁家墳墓群	日高町	S38. 12. 24
9	オムサロ台地竪穴群	紋別市	S39. 10. 3
10	十勝ホロカヤントー竪穴群	大樹町	S41. 7. 7
11	浜頓別クッチャロ湖畔竪穴群	浜頓別町	S41. 7. 7
12	鶴川盛土墳墓群	むかわ町	S41. 7. 7

13	厚岸神岩砦跡及び堅穴群	厚岸町	S41. 7. 7
14	開拓使三角測量勇払基点	苫小牧市	S42. 3. 17
15	古武井熔鉱炉跡	函館市	S42. 3. 17
16	女那川煉瓦製造所跡	函館市	S42. 3. 17
17	恵山貝塚	函館市	S42. 3. 17
18	シブノツナイ 堅穴住居跡	湧別町	S42. 3. 17
19	朱円堅穴住居跡群	斜里町	S42. 6. 22
20	岩内東山円筒文化遺跡	岩内町	S43. 3. 29
21	興部豊野堅穴住居跡	興部町	S43. 12. 18
22	十勝オコッペ遺跡	浦幌町	S51. 5. 21
23	十勝太遺跡群	浦幌町	S51. 5. 21
24	野花南周堤墓群	芦別市	H12. 4. 14
25	開拓使三角測量一本木基点	北斗市	H16. 9. 22
26	青苗砂丘遺跡	奥尻町	H20. 3. 18

[名 勝]

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	小清水海岸	小清水町	S26. 9. 6
2	羽衣の滝	東川町	S26. 9. 6

[天然記念物]

No.	名 称	分 野	所 在 地	指定年月日
1	斜里海岸の草原群落	植 物	斜里町	S25. 8. 28
2	中頓別鍾乳洞	地質鉱物	中頓別町	S32. 1. 29
3	佐呂間湖畔鶴沼のアッケシソウ群落	植 物	湧別町	S32. 1. 29
4	温根湯エゾムラサキツツジ群落	植 物	北見市	S32. 1. 29
5	礼文島桃岩付近一帯の野生植物	植 物	礼文町	S34. 9. 11
6	当麻鐘乳洞	地質鉱物	当麻町	S36. 3. 17
7	札内川流域化粧柳自生地	植 物	帯広市	S37. 4. 3
8	更別湿原のヤチカンバ	植 物	更別村	S38. 7. 26
9	ユルリ・モユルリ島海鳥繁殖地	動 物	根室市	S38. 10. 15
10	羅臼のひかりごけ	植 物	羅臼町	S38. 12. 24
11	大津海岸トイトツキ浜野生植物群落	植 物	豊頃町	S38. 12. 24
12	大津海岸長節湖畔野生植物群落	植 物	豊頃町	S38. 12. 24
13	雨竜沼高層湿原帯	天然保護 区域	雨竜町	S39. 10. 3
14	白滝の流紋岩球類	地質鉱物	遠軽町	S39. 10. 3
15	二股温泉の石灰華	地質鉱物	長万部町	S40. 6. 14

16	樽前山熔岩円頂丘	地質鉱物	苫小牧市	S42. 3. 17
17	大正のカシワ林	植 物	帯広市	S43. 1. 18
18	茅部の栗林	植 物	森町	S43. 1. 18
19	新冠泥火山	地質鉱物	新冠町	S43. 1. 18
20	羅臼の間歇泉	地質鉱物	羅臼町	S43. 3. 19
21	利尻島のチシマザクラ自生地	植 物	利尻町	S43. 12. 18
22	然別湖のオシヨロコマ生息地	動 物	鹿追町・ 上土幌町	S43. 12. 18
23	稚咲内海岸砂丘林	植 物	豊富町	S46. 4. 21
24	厚岸床潭沼の緋鮒生息地	動 物	厚岸町	S47. 4. 1
25	乙部鮪ノ岬の安山岩柱状節理	地質鉱物	乙部町	S47. 4. 1
26	オシユンコシユン粗粒玄武岩柱状節理	地質鉱物	斜里町	S48. 3. 14
27	夕張の石炭大露頭	地質鉱物	夕張市	S49. 12. 6
28	帯広畜産大学農場の構造土十勝坊主	地質鉱物	帯広市	S49. 12. 6
29	タキカワカイギュウ化石標本	地質鉱物	滝川市	S59. 3. 12
30	レブンアツモリソウ群生地	植 物	礼文町	H 6. 6. 3
31	黄金水松	植 物	芦別市	H14. 3. 29
32	空知大滝罫穴群	地質鉱物	芦別市	H23. 3. 15
33	西別湿原ヤチカンバ群落地	植 物	別海町	H23. 3. 15

・道指定文化財一覧は→

<http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/bun-hogo-do-sitei.htm>

(4) 管内別市町村指定文化財一覧

管内	有形文化財		無形 文化財	民俗文化財		史跡	名勝	天 然 記念物	伝統的 建造物群 保存地区	計	
	建造物	美 術		有形	無形						
	件数	工芸品 (棟数)									
空知	16	(17)	37	3	4	16	11	0	9	0	96
石狩	8	(8)	25	2	3	3	5	0	4	0	50
後志	9	(9)	28	1	0	11	26	2	10	0	87
胆振	8	(8)	43	0	11	14	25	0	13	0	114
日高	1	(1)	18	5	0	0	2	1	1	0	28
渡島	2	(2)	113	0	18	15	9	4	8	1	170
檜山	8	(11)	49	0	10	14	4	1	1	0	87
上川	15	(16)	19	3	0	10	16	0	19	0	82
留萌	3	(3)	7	0	3	8	42	0	1	0	64
宗谷	15	(15)	13	0	0	3	14	0	7	0	52
ホ-ツ	8	(8)	12	0	4	1	7	0	7	0	39
十勝	3	(3)	37	2	1	8	7	0	16	0	74
釧路	3	(3)	14	1	0	3	6	0	14	0	41
根室	3	(7)	16	0	1	2	6	0	20	0	48
合計	102	(111)	431	17	55	108	180	8	130	1	1,032

・市町村指定文化財一覧は→

<http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/H28shichousonbunkazai.pdf>

・函館市（渡島）が定める伝統的建造物群保存地区は、国選定「重要伝統的建造物群保存地区」の範囲と同じ。

(5) 管内別登録文化財

管内	有形文化財	記念物
空知	25	0
石狩	27	0
後志	14	0
胆振	6	0
日高	3	0

管内	有形文化財	記念物
渡島	19	1
檜山	1	0
上川	16	0
留萌	0	0
宗谷	3	0

管内	有形文化財	記念物
ホ-ツ	13	0
十勝	7	0
釧路	1	0
根室	8	0
合計	143	1

(6) 登録文化財一覧

登録文化財とは、文化財保護法に基づき、国・地方公共団体指定以外の有形文化財(建造物)もしくは記念物(名勝)のうち、保存活用のための措置が特に必要なものを文部科学大臣が文化財登録原簿に登録して保存を図るものです。

〔登録有形文化財(建造物)〕

No.	名 称	所 在 地	登録年月日
1	札幌市資料館 (旧札幌控訴院)	札幌市	H9. 5. 7
2	五島軒本店旧館	函館市	H9. 5. 7
3	北海道大学古河記念講堂 (旧東北帝国大学農科大学林学科教室)	札幌市	H9. 9. 3
4	旧国鉄根北線越川橋梁	斜里町	H10. 7. 23
5	北星学園創立百周年記念館 (旧北星女学校宣教師館)	札幌市	H10. 9. 2
6	日本キリスト教団札幌教会 (旧札幌美以教会堂)	札幌市	H10. 9. 2
7	室蘭市旧室蘭駅舎	室蘭市	H11. 7. 8
8	旧国鉄土幌線勇川橋梁	上士幌町	H11. 8. 23
9	旧国鉄土幌線第三音更川橋梁	上士幌町	H11. 8. 23
10	旧国鉄土幌線第五音更川橋梁	上士幌町	H11. 8. 23
11	旧国鉄土幌線十三の沢橋梁	上士幌町	H11. 8. 23
12	北海道知事公館 (旧三井クラブ)	札幌市	H11. 10. 14
13	杉野目家住宅	札幌市	H11. 10. 14
14	旧丹波屋旅館和館	中頓別町	H12. 2. 15
15	旧丹波屋旅館洋館	中頓別町	H12. 2. 15
16	北海道大学農学部博物館バチエラー記念館	札幌市	H12. 4. 28
17	北海道大学附属植物園庁舎 (旧札幌農学校動植物学教室)	札幌市	H12. 4. 28
18	北海道大学旧札幌農学校昆虫及養蚕学教室	札幌市	H12. 4. 28
19	北海道大学旧札幌農学校図書館読書室	札幌市	H12. 4. 28
20	北海道教育大学函館校北方教育資料室 (旧函館師範学校)	函館市	H12. 4. 28
21	北海道大学農学部附属苫小牧地方演習林森林記念館 (旧標本貯蔵室)	苫小牧市	H12. 4. 28
22	北海道大学文学部二風谷研究室 (旧マンロー邸)	平取町	H12. 4. 28
23	北海道大学旧札幌農学校図書館書庫	札幌市	H12. 4. 28
24	プレイリー・ハウス (旧佐田邸)	函館市	H12. 4. 28
25	エドウィン・ダン記念館 (旧北海道庁真駒内種畜場事務所)	札幌市	H12. 9. 26
26	函館中華会館	函館市	H13. 4. 24
27	旧西岡水源池取水塔	札幌市	H13. 8. 28
28	北海道林木育種場旧庁舎	江別市	H13. 8. 28
29	根室市明治公園第一サイロ	根室市	H13. 8. 28
30	根室市明治公園第二サイロ	根室市	H13. 8. 28
31	根室市明治公園第三サイロ	根室市	H13. 8. 28
32	旧中村平八郎家住宅主屋	むかわ町	H13. 8. 28

33	旧国鉄富内線富内駅舎	むかわ町	H13. 8. 28
34	旧国鉄富内線富内駅プラットホーム	むかわ町	H13. 8. 28
35	旧国鉄富内線富内駅構内線路	むかわ町	H13. 8. 28
36	上川倉庫事務所	旭川市	H13. 11. 20
37	上川倉庫一号倉庫	旭川市	H13. 11. 20
38	上川倉庫二号倉庫（リハーサルホール）	旭川市	H13. 11. 20
39	上川倉庫三号倉庫（チェアーズギャラリー）	旭川市	H13. 11. 20
40	上川倉庫八号倉庫	旭川市	H13. 11. 20
41	上川倉庫十号倉庫（デザインギャラリー）	旭川市	H13. 11. 20
42	上川倉庫十一号倉庫（大雪地ビール館）	旭川市	H13. 11. 20
43	あさでん春光整備工場（旧陸軍第七師団騎兵第七連隊覆馬場）	旭川市	H13. 11. 20
44	松岡家住宅	旭川市	H13. 11. 20
45	最創山光岸寺本堂	旭川市	H13. 11. 20
46	旧北陸銀行江別支店	江別市	H14. 2. 14
47	遺愛学院講堂	函館市	H14. 6. 25
48	石崎漁港トンネル	上ノ国町	H15. 1. 31
49	旧国鉄士幌線第六音更川橋梁	上士幌町	H15. 1. 31
50	旧国鉄士幌線音更トンネル	上士幌町	H15. 1. 31
51	ニッカウキスキー北海道工場事務所棟	余市町	H17. 2. 9
52	ニッカウキスキー北海道工場蒸溜棟	余市町	H17. 2. 9
53	ニッカウキスキー北海道工場貯蔵棟	余市町	H17. 2. 9
54	ニッカウキスキー北海道工場リキュール棟	余市町	H17. 2. 9
55	ニッカウキスキー北海道工場第一乾燥塔	余市町	H17. 2. 9
56	ニッカウキスキー北海道工場第二乾燥塔	余市町	H17. 2. 9
57	ニッカウキスキー北海道工場研究室	余市町	H17. 2. 9
58	ニッカウキスキー北海道工場旧竹鶴邸	余市町	H17. 2. 9
59	ニッカウキスキー北海道工場第一貯蔵庫	余市町	H17. 2. 9
60	函館大手町ハウス（旧浅野セメント函館営業所）	函館市	H17. 7. 12
61	遺愛学院（旧遺愛女学校）謝恩館	函館市	H17. 7. 12
62	J R小樽駅本屋	小樽市	H18. 3. 27
63	J R小樽駅プラットホーム	小樽市	H18. 3. 27
64	熊谷家住宅主屋	北斗市	H18. 3. 27
65	旧北炭夕張炭鉱専用鉄道高松跨線橋	夕張市	H18. 10. 18
66	旧北炭夕張炭鉱天龍坑人車斜坑坑口	夕張市	H18. 10. 18
67	旧北炭夕張炭鉱天龍坑資材斜坑坑口	夕張市	H18. 10. 18
68	旧北炭夕張炭鉱模擬坑道	夕張市	H18. 10. 18
69	旧北炭夕張炭鉱高松ズリ捨線拱橋	夕張市	H18. 10. 18

70	旧北炭夕張炭鉱高松ズリ捨線スキップ隧道	夕張市	H18.10.18
71	旧北炭夕張炭鉱高松ズリ捨線ベルト隧道西坑門	夕張市	H18.10.18
72	小林酒造旧事務所（蔵元北の錦記念館）	栗山町	H18.10.18
73	小林酒造旧ビール庫・缶詰資材庫（大正・昭和の暮らし館）	栗山町	H18.10.18
74	小林酒造旧精米場（酒の郷なつかしホール）	栗山町	H18.10.18
75	小林酒造旧資材庫(昔の酒道具展示館)	栗山町	H18.10.18
76	小林酒造一番蔵	栗山町	H18.10.18
77	小林酒造二番蔵	栗山町	H18.10.18
78	小林酒造三番蔵	栗山町	H18.10.18
79	小林酒造四番蔵	栗山町	H18.10.18
80	小林酒造五番蔵	栗山町	H18.10.18
81	小林酒造六番蔵	栗山町	H18.10.18
82	小林酒造製麹室	栗山町	H18.10.18
83	小林酒造蒸米場	栗山町	H18.10.18
84	小林家住宅主屋	栗山町	H18.10.18
85	沼田家住宅旧りんご倉庫	札幌市	H18.11.29
86	旧幌向駅通所	南幌町	H18.11.29
87	斉藤家住宅（旧盛田家住宅）主屋	森町	H19.7.31
88	順誓寺本堂	津別町	H19.7.31
89	北村家住宅主屋（旧土田旅館）	中標津町	H19.10.2
90	星槎大学(旧頼城小学校)校舎	芦別市	H20.3.7
91	星槎大学(旧頼城小学校)体育館	芦別市	H20.3.7
92	旧上藻別駅通所	紋別市	H20.10.23
93	旧三井芦別鉄道炭山川橋梁	芦別市	H21.1.8
94	北海道立根釧農業試験場（旧北海道農事試験場根室支場）農具庫	中標津町	H21.8.7
95	北海道立根釧農業試験場（旧北海道農事試験場根室支場）種苗倉庫	中標津町	H21.8.7
96	伝成館（旧北海道農事試験場根室支場庁舎）	中標津町	H21.8.7
97	中標津町郷土館緑ヶ丘文館（旧北海道農事試験場根室支場陳列館）	中標津町	H21.8.7
98	正行寺鐘楼	厚岸町	H21.8.7
99	黒田家住宅主屋	札幌市	H22.9.10
100	黒田家住宅蔵	札幌市	H22.9.10
101	黒田家住宅表門	札幌市	H22.9.10
102	黒田家住宅石塀	札幌市	H22.9.10
103	旧青山家別邸主屋	小樽市	H22.9.10
104	旧青山家別邸文庫蔵	小樽市	H22.9.10
105	旧青山家別邸板塀	小樽市	H22.9.10
106	双葉幼稚園園舎	帯広市	H22.9.10

107	夕張鹿鳴館（旧北炭鹿ノ谷倶楽部）	夕張市	H23. 10. 28
108	高龍寺本堂	函館市	H24. 2. 23
109	高龍寺開山堂	函館市	H24. 2. 23
110	高龍寺山門及び袖塀	函館市	H24. 2. 23
111	高龍寺防火塀	函館市	H24. 2. 23
112	高龍寺金毘羅堂	函館市	H24. 2. 23
113	高龍寺水盤舎	函館市	H24. 2. 23
114	高龍寺鐘楼	函館市	H24. 2. 23
115	高龍寺宝蔵	函館市	H24. 2. 23
116	高龍寺位牌堂	函館市	H24. 2. 23
117	高龍寺土塀	函館市	H24. 2. 23
118	沼田家住宅旧第二りんご倉庫	札幌市	H24. 8. 13
119	柳田家住宅旧りんご蔵	札幌市	H24. 8. 13
120	博物館網走監獄煉瓦造独居房	網走市	H24. 8. 13
121	博物館網走監獄鏡橋入口哨舎	網走市	H24. 8. 13
122	博物館網走監獄鏡橋出口哨舎	網走市	H24. 8. 13
123	博物館網走監獄西門哨舎	網走市	H24. 8. 13
124	博物館網走監獄裏門	網走市	H24. 8. 13
125	博物館網走監獄裏門哨舎	網走市	H24. 8. 13
126	旧岡田家住宅主屋	旭川市	H25. 6. 21
127	旧岡田家住宅蔵	旭川市	H25. 6. 21
128	山崎家住宅主屋	旭川市	H25. 6. 21
129	旧瀬戸家住宅主屋	稚内市	H25. 6. 21
130	遠藤家住宅主屋	札幌市	H26. 10. 7
131	遠藤家住宅南石蔵	札幌市	H26. 10. 7
132	遠藤家住宅北石蔵	札幌市	H26. 10. 7
133	遠藤家住宅表門	札幌市	H26. 10. 7
134	遠藤家住宅塀	札幌市	H26. 10. 7
135	飯田家住宅座敷棟	日高町	H26. 12. 19
136	旭川市市民活動交流センター市民活動支援棟（旧国鉄旭川車両センター木機乾燥場）	旭川市	H27. 11. 17
137	旭川市市民活動交流センターホール棟（旧国鉄旭川車両センター第二木機職場）	旭川市	H27. 11. 17
138	北海道護国神社平成館（旧陸軍第七師団北鎮兵事記念館）	旭川市	H27. 11. 17
139	飯田家住宅主屋	日高町	H27. 11. 17

〔登録記念物〕

No.	名 称	所在地	登 録 年月日
1	函館公園	函館市	H18. 1. 26

・国登録文化財一覧は→<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/bun-hogo-tourokuitiran.htm>

(7) 平成27年度北海道文化財保護強調月間実施事業一覧

[公開]

市町村名	区分	事業名又は対象の文化財	主催者
岩見沢市	公開	<市指定有形文化財> 旧國兼家住宅	岩見沢市教育委員会
岩見沢市	公開	<市指定有形文化財> 石器群、砺波獅子舞、岩見沢雅楽会	岩見沢郷土科学館
夕張市	公開	<国登録有形文化財> 旧北炭夕張炭鋳模擬坑道	夕張市教育委員会
夕張市	公開	<市指定有形文化財> 採炭救国坑夫の像	夕張市教育委員会
夕張市	公開	<道指定天然記念物> 夕張の石炭大露頭	夕張市教育委員会
夕張市	公開	<国登録有形文化財> 旧北炭夕張炭鋳天龍坑人車斜坑坑口	夕張市教育委員会
夕張市	公開	<国登録有形文化財> 旧北炭夕張炭鋳天龍坑資材斜坑坑口	夕張市教育委員会
夕張市	公開	<国登録有形文化財> 夕張鹿鳴館（旧北炭鹿ノ谷倶楽部）	夕張鹿鳴館
美唄市	公開	<道指定文化財> 美唄屯田兵屋	美唄市教育委員会
美唄市	公開	<市指定有形文化財> 美唄屯田騎兵隊火薬庫	美唄市教育委員会
美唄市	公開	<市指定有形文化財> 旧桜井家住宅	美唄市教育委員会
栗山町	公開	<国登録有形文化財> 小林家	株式会社 小林家
栗山町	公開	<町指定有形文化財> 「千瓢彫」本田数馬翁の遺作 木彫りの鮭	栗山町教育委員会
栗山町	公開	<町指定有形文化財> 泉記念館	栗山町開拓記念館
栗山町	公開	<町指定有形文化財> 泉麟太郎君記念碑	栗山町開拓記念館
栗山町	公開	<町指定有形文化財> 続縄文時代鳩山2遺跡「深鉢形土器」	栗山町開拓記念館
秩父別町	公開	<町指定文化財> 有形文化財 屯田の鐘	秩父別町教育委員会
札幌市	公開	<国指定重要文化財> 第33回時計台まつり	時計台まつり実行委員会
札幌市	公開	市所有文化財	札幌市役所
札幌市	公開	札幌市埋蔵文化財センター企画展	札幌市埋蔵文化財センター
札幌市	公開	<市指定有形文化財> 展示	札幌市埋蔵文化財センター
江別市	公開	常設展示（重要文化財、市指定文化財含む）	江別市郷土資料館
千歳市	公開	常設展示	千歳市埋蔵文化財センター
恵庭市	公開	「特別公開2015 国指定重要文化財 カリンバ遺跡出土品」展	恵庭市郷土資料館
石狩市	公開	テーマ展 石で作った縄文文化の道具たち	いしかり砂丘の風資料館
石狩市	公開	テーマ展 石で作った縄文文化の道具たち	いしかり砂丘の風資料館
当別町	公開	常設展示	当別町教育委員会
小樽市	公開	<重要文化財> 旧手宮鉄道施設 <市指定史跡> 北海道鉄道開通起点	小樽市総合博物館
小樽市	公開	<市指定有形文化財> 木造聖観音立像	浅草観音寺
小樽市	公開	<市指定有形文化財> 日本銀行旧小樽支店（金融資料館）	日本銀行金融資料館
小樽市	公開	<道指定史跡> 地鎮山環状列石	小樽市教育委員会
小樽市	公開	<道指定有形文化財> にしん魚場建築	小樽市

小樽市	公開	<道指定有形文化財> 木造五百羅漢像	宗圓寺
小樽市	公開	<国指定史跡> 手宮洞窟	手宮洞窟保存館
小樽市	公開	<国指定史跡> 忍路環状列石	小樽市教育委員会
小樽市	公開	<国登録有形文化財> JR小樽駅(本屋・プラットホーム)	JR小樽駅
小樽市	公開	<国登録有形文化財> 旧青山家別邸(主屋・文庫蔵・板塀)	小樽貴賓館 旧青山別邸
小樽市	公開	<市指定歴史的建造物> 坂牛邸邸	NPO小樽ワークス
小樽市	展覧会等	企画展 (仮称) 保存修理工事パネル展	小樽市教育委員会
寿都町	展覧会等	寿都町総合文化センター文化財展示室	寿都町教育委員会
留寿都村	展覧会等	留寿都村公民館郷土資料室の公開	留寿都村教育委員会
積丹町	展覧会等	積丹町文化祭(展示の部)	積丹町教育委員会
京極町	公開	京極町生涯学習センター湧学館 郷土資料コーナーの公開	京極町教育委員会
京極町	公開	京極町生涯学習センター湧学館 史料室の公開	京極町教育委員会
古平町	公開	<町指定史跡> 吉田一穂生誕百年記念碑 「白鳥古丹」	古平町教育委員会
古平町	公開	<町指定史跡> 水見悠々子碑	古平町教育委員会
古平町	公開	<町指定史跡> 高野素十句碑	古平町教育委員会
余市町	公開	平成27年度余市水産博物館特別展「余市りんご」	余市水産博物館
室蘭市	公開	<市指定文化財> 仙台藩角田領添田関係資料、南部藩陣屋跡出土砲弾、友情人形	室蘭市民俗資料館
苫小牧市	公開	<道指定有形文化財> アイヌ丸木舟及び推進具	苫小牧市美術博物館
苫小牧市	公開	<国指定史跡> 静川遺跡出土土器展示	苫小牧市美術博物館
登別市	公開	常設展示	登別市郷土資料館
登別市	公開	常設展示(「土地の記憶たち」)	のぼりべつ文化交流館 カント・レラ
白老町	公開	平成27年度埋蔵文化財巡回展「ポニアヨロ4遺跡編」	仙台藩白老元陣屋資料館
平取町	公開	<国登録有形文化財> 旧マンロー邸	平取町立二風谷アイヌ文化博物館
平取町	公開	平取町立二風谷アイヌ文化博物館 常設展	平取町立二風谷アイヌ文化博物館
平取町	公開	平取町立二風谷アイヌ文化博物館 特別展「アイヌ民俗資料を解き明かす科学の力」	平取町立二風谷アイヌ文化博物館
平取町	公開	特別展「遺跡出土石器の原産地を探る」	沙流川歴史館
新ひだか町	公開	<道指定有形文化財> 「静内御殿山墳墓群出土の遺物」展示公開(常設展示)	新ひだか町博物館
新ひだか町	公開	<町指定有形文化財> 「静内中野式土器」展示公開(常設展示)	新ひだか町博物館
新ひだか町	公開	<町指定有形文化財> 「エゾオオカミ頭蓋骨」展示公開(常設展示)	新ひだか町アイヌ民俗資料館
様似町	公開	ヒメチャマダラセセリ天然記念物指定40周年記念事業「須崎忠助原画展～あの頃チョウが見ていた花たち」	様似町教育委員会

函館市	公開	<市指定有形文化財> 函館市旧イギリス領事館 (常設展示)	函館市旧イギリス領事館
函館市	公開	函館市写真歴史館 (常設展示)	函館市写真歴史館
函館市	公開	<国指定重要文化財> 旧函館区公会堂	函館市重要文化財旧函館区公会堂
函館市	公開	<国宝> 「中空土偶」 (常設展示)	函館市縄文文化交流センター
函館市	公開	<道指定有形文化財> 「旧金森洋物店」 (常設展示)	郷土資料館
函館市	公開	収蔵資料展 「アイヌ工芸・匠の技-削る・彫る・刻む-」	函館市北方民族資料館
函館市	公開	「佐藤泰志展～没後25年に寄せて」	函館市文学館
函館市	公開	平成27年度企画展 新収蔵資料展	市立函館博物館
函館市	公開	平成27年度下期石川啄木直筆資料展「明治41年1月～4月の書簡(釧路)より」	函館市文学館
函館市	公開	市立函館博物館 本館 祝日開館	市立函館博物館
函館市	公開	市立函館博物館 郷土資料館 祝日開館	市立函館博物館
七飯町	公開	<町指定文化財> 迫田家文書	七飯町歴史館
森町	公開	町内埋蔵文化財の常設展示	森町教育委員会
八雲町	展覧会等	<国指定重要文化財> 「コタン温泉遺跡出土品」展	八雲町教育委員会
福島町	公開	<道指定有形文化財> 宮歌村文書<町指定有形文化財> 円空仏、獅子頭	福島町教育委員会
福島町	公開	<町指定有形文化財> 円空仏 (レプリカ)	福島町教育委員会
長万部町	展覧会等	町指定有形民俗文化財 考古学資料コーナー開放	長万部町教育委員会
長万部町	展覧会等	町指定有形文化財	長万部町教育委員会
江差町	公開	<国指定重要文化財> 旧中村家住宅	江差町教育委員会
江差町	公開	<道指定有形文化財> 旧檜山爾志郡役所	江差町教育委員会
上ノ国町	公開	<国指定重要文化財> 旧笹浪家住宅	上ノ国町教育委員会
上ノ国町	公開	勝山館跡ガイダンス施設公開事業	上ノ国町教育委員会
上ノ国町	公開	上之国館調査整備センター収蔵品公開展示事業	上ノ国町教育委員会
乙部町	展覧会等	乙部町公民館郷土資料室 常設展示	乙部町公民館
せたな町	公開	<町指定有形文化財> 荻野吟子 遺品・資料	瀬棚郷土館
奥尻町	展覧会等	奥尻島津波館常設展示	奥尻町教育委員会
奥尻町	展覧会等	稲穂ふれあい研修センター常設展示	奥尻島津波館
厚沢部	公開	郷土資料館特別開館	厚沢部町教育委員会
旭川市	公開	<市指定有形文化財> 上川郡農作試験所事務所棟 (忠別太駅通第一美英舎)	旭川市教育委員会
旭川市	公開	<市指定有形文化財> 養蚕民家	旭川市教育委員会
旭川市	公開	<市指定有形文化財> 旧神居古潭駅舎	旭川市役所
旭川市	展覧会等	<市指定有形文化財> 旭川兵村中隊記録及び屯田物語原画綴り	旭川兵村記念館
旭川市	展覧会等	<市指定有形文化財> 第七師団関係記録	北鎮記念館
旭川市	展覧会等	博物館無料開放「アイヌ文化に親しむ日」	旭川市博物館

士別市	展覧会等	常設展示2「先史の世界」	士別市立博物館
士別市	展覧会等	常設展示2「北海道開拓の夜明け」	士別市立博物館
士別市	展覧会等	常設展示2「大正期の庶民生活」	士別市立博物館
士別市	展覧会等	常設展示2「士別の産業」	士別市立博物館
名寄市	公開	<国指定天然記念物> 名寄高師小僧、名寄鈴石	名寄市北国博物館
名寄市	公開	<市指定文化財>名寄教会会堂, ミズナラ林, 風連獅子舞, グイマツ	名寄市北国博物館
富良野市	展覧会等	富良野市博物館常設展示	富良野市生涯学習センター
鷹栖町	展覧会等	郷土資料の展示	鷹栖町郷土資料館
東神楽町	展覧会等	東神楽町郷土資料展示会	東神楽町教育委員会
上富良野町	公開	<町指定有形文化財> 東中尋常高等小学校御神影奉置所	上富良野町教育委員会
上富良野町	公開	<町指定史跡> 憩の楡跡の碑	上富良野町教育委員会
上富良野町	公開	<町指定史跡> 富原地区の地神及び山の神	上富良野町教育委員会
東川町	公開	<町指定無形文化財> 羽衣太鼓の公演	東川町教育委員会
東川町	公開	郷土館の公開	東川町教育委員会
東川町	公開	<町指定有形文化財> 明治の家の公開	東川町教育委員会
剣淵町	展覧会等	剣淵町資料館	剣淵町教育委員会
下川町	公開	ふるさと交流館 常設展示	下川町教育委員会
下川町	公開	郷土資料展示保存施設 常設展示	下川町教育委員会
増毛町	公開	<国指定重要文化財> 旧本間家住宅の公開	増毛町教育委員会
苫前町	公開	<町指定有形文化財> 修羅、須恵器（甕）の展示	苫前町教育委員会
天塩町	展覧会等	天塩川歴史資料館	天塩川歴史資料館
浜頓別町	展覧会等	ブタウス遺跡発掘調査展示(特別展示)	浜頓別町教育委員会
浜頓別町	展覧会等	ブタウス遺跡発掘調査展示(常設展示)	浜頓別町教育委員会
礼文町	展覧会等	<国指定重要文化財> 北海道船泊遺跡出土品展示公開事業	礼文町教育委員会
礼文町	展覧会等	<道指定有形文化財> 礼文島出土の歯牙製女性像及び動物像 展示公開事業	礼文町教育委員会
礼文町	展覧会等	<町指定有形文化財> 上泊3遺跡出土遺物展示公開事業	礼文町教育委員会
礼文町	展覧会等	最北の縄文普及活用事業	礼文町教育委員会
利尻町	公開	<道・町指定有形文化財> 亦稚貝塚出土物	利尻町立博物館
網走市	展覧会等	モヨロ貝塚出土資料の常設展示	網走市立郷土博物館
北見市	公開	企画展「大昔の北見」縄文にふれる(縄文原体を用いた体験コーナー)	北見市教育委員会
北見市	公開	美里洞窟遺跡公開	北見市教育委員会
北見市	公開	<市指定有形民俗文化財> 屯田兵人形	明照寺
北見市	公開	<市指定有形文化財> ピアソン記念館	ピアソン記念館
北見市	公開	<市指定有形文化財> ハッカ記念館	ハッカ記念館
北見市	公開	ところ遺跡の館 常設展示	ところ遺跡の館
北見市	公開	端野町歴史民俗資料館 常設展示	端野町歴史民俗資料館

北見市	公開	<市指定有形文化財> 武華駅通	北見市教育委員会
大空町	公開	大空町女満別文化展（郷土資料室一般公開）	大空町教育委員会
美幌町	公開	美幌博物館常設展示	美幌博物館
美幌町	公開	美幌博物館開館記念日	美幌博物館
斜里町	展覧会等	通常展示	斜里町立知床博物館
清里町	展覧会等	埋蔵文化財展示	清里町教育委員会
訓子府蝶	公開	くねっぶ歴史館常設展示	訓子府町教育委員会
遠軽町	展覧会等	<国指定重要文化財> 北海道白滝遺跡群出土品	遠軽町埋蔵文化財センター
遠軽町	展覧会等	<道指定有形文化財> 幌加川遺跡出土の石器群	遠軽町埋蔵文化財センター
湧別町	公開	常設展示	湧別町ふるさと館 JRY
湧別町	公開	常設展示	湧別町ふるさと館 JRY
湧別町	公開	企画展示	湧別町ふるさと館 JRY
帯広市	展覧会等	帯広百年記念館常設展示	帯広百年記念館
帯広市	公開	<市指定有形文化財>十勝鉄道蒸気機関車4号及び客車コハ23号	帯広市教育委員会
鹿追町	公開	鹿追町郷土資料室常設展示	鹿追町図書館
芽室町	展覧会等	農業関連資料及び町内出土埋蔵文化財等の常設展示	芽室町ふるさと歴史館
池田町	公開	移動郷土資料館展（池田町役場庁舎の歴史）	池田町教育委員会
広尾町	展覧会等	広尾町海洋博物館・郷土文化保存伝習館無料開放	広尾町教育委員会
幕別町	展覧会等	<町指定有形文化財> 幕別町蝦夷文化考古館収蔵品	幕別町蝦夷文化考古館
陸別町	展覧会等	史跡ユクエピラチャシ跡展	陸別町教育委員会
浦幌町	展覧会等	農機具展	浦幌町立博物館
浦幌町	展覧会等	<町指定無形文化財> 開拓獅子舞	浦幌町立博物館
釧路市	公開	<市指定有形文化財> 星兜（残欠）	釧路市立博物館
釧路町	公開	第14回釧路町文化フェスティバル	釧路町公民館
釧路町	公開	釧路町郷土資料館開設及び郷土資料展	釧路町公民館
釧路町	公開	チャシ跡出土品展示	釧路町公民館
白糠町	公開	上茶路遺跡出土資料展示	白糠町教育委員会
根室市	公開	<道指定有形文化財> 和田屯田兵村の被服庫	根室市歴史と自然の資料館
根室市	公開	<道指定有形文化財> 初田牛20遺跡出土の土偶及び墓坑出土遺物	根室市歴史と自然の資料館
根室市	公開	<市指定有形文化財> 穂香堅穴群出土の動物意匠付土器、明治牧場の大金庫、俄羅斯船之図及びワシレイラフロウ図	根室市歴史と自然の資料館
根室市	公開	<国指定史跡> 根室半島チャシ跡群 史跡案内ガイダンス活動	根室市歴史と自然の資料館
別海町	公開	<町指定有形文化財> 奥行白駅	別海町教育委員会
別海町	公開	<町指定有形文化財> 旧別海村営軌道風連線奥行白停留所	別海町教育委員会
別海町	公開	<町指定有形文化財> 加賀家文書	別海町郷土資料館
別海町	公開	<町指定天然記念物> 野付半島沖マンモスゾウ化石群	別海町郷土資料館
中標津町	公開	<国登録有形文化財>旧北海道農事試験場根室支場陳列館	中標津町教育委員会

標津町	展覧会等	常設展示	標津町ポー川史跡自然公園
羅臼町	展覧会等	重要文化財指定記念特別展「北海道松法川北岸遺跡出土品展」	羅臼町郷土資料館

〔イベント〕

市町村名	区分	事業名	主催者
千歳市	体験	勾玉をつくろう！	千歳市埋蔵文化財センター
石狩市	体験	体験講座 縄文文化の暮らしをジオラマで作ろう	いしかり砂丘の風資料館
函館市	体験	わくわく科学教室 親子で学ぶ「手軽な魚の解剖学」	市立函館博物館
函館市	体験	やさしく学ぶ「北海道南部のアイヌ語」	市立函館博物館
函館市	体験	古写真・古地図を歩く(2)	市立函館博物館
函館市	体験	縄文の植物利用 第3回(全4回)	函館市縄文文化交流センター
函館市	イベント	〈公会堂コンサート〉 「綾錦」篠笛コンサート	函館市重要文化財旧函館区公会堂
函館市	イベント	〈公会堂コンサート〉 北海道大学水産学部交響楽団 公会堂コンサート	函館市重要文化財旧函館区公会堂
函館市	イベント	〈公会堂コンサート〉 HAKODATE ENSEMBLE Lab Concert 2015	函館市重要文化財旧函館区公会堂
函館市	イベント	〈公会堂コンサート〉 函館市民オーケストラ 室内楽コンサート	函館市重要文化財旧函館区公会堂
森町	体験	鷲ノ木遺跡見学会	森町教育委員会
愛別町	イベント	愛別町文化祭芸能発表会	愛別町公民館
礼文町	イベント	縄文八十八箇所めぐりスタンプラリー	礼文町教育委員会
帯広市	イベント	文化財めぐり	帯広市教育委員会
陸別町	体験	陸別町文化祭 ふるさとの遺跡を歩く	陸別町教育委員会
浦幌町	体験	近代化遺産の日見学会「浦幌の近代化遺産:レンガ遺構を見て回ろう」	浦幌町立博物館
白糠町	イベント	ししゃも祭り	白糠アイヌ協会

〔講演会・講座〕

市町村名	区分	事業名	主催者
千歳市	講演会等	平成27年度企画展「世界遺産登録をめざす北海道縄文遺跡群」	千歳市埋蔵文化財センター
千歳市	講演会等	講演会 「大湯環状列石の価値と魅力」	千歳市埋蔵文化財センター
千歳市	講演会等	講演会 「復元された縄文の原風景とその文化-史跡 御所野遺跡の調査と整備から-」	千歳市埋蔵文化財センター
洞爺湖町	講演会等	縄文ロビー講座	洞爺湖町教育委員会
函館市	講演会等	ミュージアム・トーク 「アイヌ文化のかたち-生活様式にみる伝統工芸の世界-」	函館市北方民族資料館
平取町	講演会等	文化的景観現地説明会	平取町立二風谷アイヌ文化博物館

浦幌町	講演会等	夜学講座「近代化遺産ってなに？」	浦幌町立博物館
厚岸町	講演会等	古文書教室	厚岸町海事記念館
厚岸町	講演会等	文化財歴史講演会	厚岸町海事記念館
白糠町	講演会等	アイヌ文化出前講座（庶路中学校）	白糠町教育委員会
白糠町	講演会等	アイヌ文化出前講座（ポコロモシリウレシバチセ）	白糠町教育委員会

・平成 27 年度北海道文化財保護強調月間は→

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kyoutyougekkann.htm>

(8) 平成 27 年度文化財パトロール

国指定文化財や埋蔵文化財包蔵地などの状況を把握し、計画的な維持・管理を行うため、文化財調査員 39 名を委嘱して計画的に巡視を行い、併せて文化財保護思想の普及を図りました。

	有形文化財 有形民俗文化財	史跡	名勝	天然記念物	伝統的建造物保存地区	埋蔵文化財包蔵地	合計
パトロール対象件数	53	52	12	47	1	12, 125	
パトロール実施件数	37	46	9	43	1	211	347

(9) 平成 27 年度史跡名勝天然記念物の現状変更等許可件数（※天然記念物のみ）

史跡名勝天然記念物の現状変更や、保存に影響を及ぼす行為をしようとするときは、文化庁長官、北海道教育委員会又は市町教育委員会の許可が必要となります。

〔国指定〕

許可権者	史跡	名勝	天然記念物	合計
文化庁長官	12	0	40	52
北海道教育委員会	0	0	5	5
市町教育委員会	17	0	9	26

〔道指定〕

許可権者	史跡	名勝	天然記念物	合計
北海道教育委員会	1	0	17	18

(10) 平成 27 年度銃砲刀剣類の登録状況

美術品若しくは骨とう品として価値のある火縄式銃砲等の古式銃砲や美術品として価値のある刀剣類について、新規の登録や所有者変更等の事務を行いました。

登録	登録証再交付	所有者変更	登録証返納	製作承認	合計(件数)
135	34	744	106	13	1,032

2 埋蔵文化財

(1) 市町村別埋蔵文化財包蔵地一覽

空	岩見沢市	54	ニセコ町	195	渡島	知内町	32	上川	幌加内町	8	十勝	雄武町	50	
	夕張市	16	真狩村	20		木古内町	62		(上川計)	1,073		(林ノツ計)	2,264	
	美唄市	6	留寿都村	7		北斗市	106	留萌	留萌市	28	十勝	帯広市	61	
	芦別市	93	後喜茂別町	13		七飯町	72		増毛町	16		音更町	106	
	赤平市	13	京極町	12		鹿部町	6		小平町	19		士幌町	40	
	三笠市	12	倶知安町	21		森町	51		苫前町	15		上士幌町	74	
	滝川市	10	共和町	31		八雲町	99		羽幌町	32		鹿追町	51	
	砂川市	19	岩内町	13		長万部町	48		初山別村	7		新得町	31	
	歌志内市	0	泊村	33		(渡島計)	953		遠別町	5		清水町	36	
	深川市	79	神恵内村	10		江差町	64		天塩町	43		芽室町	65	
南幌町	0	志積丹町	17	上ノ国町	90	(留萌計)	165		中札内村	5				
奈井江町	22	古平町	11	檜山	厚沢部町	54	宗谷		稚内市	140		十勝	更別村	16
上砂川町	0	仁木町	24		乙部町	111		猿払村	18	大樹町	33			
由仁町	37	余市町	64		せたな町	70		浜頓別町	20	広尾町	21			
長沼町	61	赤井川村	67		奥尻町	32		中頓別町	8	幕別町	132			
栗山町	37	(後志計)	806		今金町	59		枝幸町	71	池田町	58			
月形町	8	室蘭市	37		(檜山計)	480		豊富町	16	豊頃町	52			
浦臼町	48	苫小牧市	284		旭川市	216		礼文町	55	本別町	99			
新十津川	15	胆登別市	33		士別市	47		利尻町	11	足寄町	114			
妹背牛町	4	伊達市	89		名寄市	150		利尻富士町	20	陸別町	55			
秩父別町	8	豊浦町	20		富良野市	141		幌延町	20	浦幌町	58			
雨竜町	5	洞爺湖町	15	鷹栖町	28	(宗谷計)	379	(十勝計)	1,107					
北竜町	10	壮瞥町	1	東神楽町	25	オホ	網走市	168	釧路	釧路市	137			
沼田町	6	白老町	44	当麻町	18		北見市	479		釧路町	76			
(空知計)	563	安平町	81	比布町	22		紋別市	67		厚岸町	90			
知	札幌市	537	厚真町	136	愛別町		23	オホ		大空町	65	釧路	浜中町	121
	江別市	142	むかわ町	105	上川町		23			美幌町	131		標茶町	208
	千歳市	292	(胆振計)	845	東川町		23			津別町	64		弟子屈町	50
	恵庭市	130	日高町	132	美瑛町		43			斜里町	378		鶴居村	73
	北広島市	59	平取町	127	上富良野町		37			清里町	35		白糠町	31
	石狩市	220	日新冠町	43	中富良野町		35			小清水町	42		(釧路計)	786
	当別町	18	新ひだか町	153	南富良野町		25			訓子府町	267		根室市	308
	新篠津村	2	浦河町	58	占冠村	11	置戸町		105	別海町	88			
	(石狩計)	1,400	高様似町	28	和寒町	36	佐呂間町		38	中標津町	67			
	後志	小樽市	102	えりも町	67	剣淵町	30		ク	遠軽町	221		根室	標津町
島牧村		24	(日高計)	608	下川町	70	湧別町	55		羅臼町	79			
寿都町		43	函館市	322	美深町	42	滝上町	46		(根室計)	734			
黒松内町		51	渡島松前町	122	音威子府村	10	興部町	39		計 12,163				
蘭越町		48	福島町	33	中川町	10	西興部村	14		(前年比 38 箇所増)				

・詳しい埋蔵文化財包蔵地の位置は「北の遺跡案内」御覧ください。→

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kitanoisekiannai.htm>

(2) 平成 27 年度埋蔵文化財保護のための事前協議件数と北海道実施の所在・試掘調査一覧

	件数	面積(m ²)
埋蔵文化財保護のための事前協議	545	
平成 27 年度北海道実施の所在調査	95	5,862.336
平成 27 年度北海道実施の試掘調査	49	122.764

(3) 平成 27 年度北海道実施の管内別埋蔵文化財所在調査・試掘調査一覧

管内	所在調査		試掘調査		管内	所在調査		試掘調査	
	件数	面積(m ²)	件数	面積(m ²)		件数	面積(m ²)	件数	面積(m ²)
空知	6	680.009	1	0.500	上川	10	301.233	2	0.131
石狩	11	169.215	9	43.804	留萌	2	2.283	1	3.534
後志	16	205.121	9	29.037	宗谷	1	0.150	1	3.400
胆振	14	73.357	8	11.104	檉ヶ	5	83.437	4	15.189
日高	0	0	2	0.428	十勝	16	3,873.503	5	6.032
渡島	11	147.925	5	6.849	釧路	1	317.900	0	0
檜山	1	8.170	0	0	根室	1	0.033	2	2.756

(4) 平成 27 年度管内別発掘調査一覧

管内	件数	面積(m ²)	管内	件数	面積(m ²)
空知	1	4,375	上川	1	850
石狩	15	15,180	留萌	0	0
後志	4	2,860	宗谷	6	4,792
胆振	19	34,307	檉ヶ	6	481
日高	1	4	十勝	2	37
渡島	9	20,861	釧路	0	0
檜山	1	100	根室	4	1,337
			合計	69	85,184

・平成 27 年度の発掘調査の概要は→

<http://www.dokyo.i.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/h27gaiyou.htm>

(5) 平成 27 年度周知の埋蔵文化財包蔵地での工事の届等件数

条項	内訳 (指示事項別)					合計
	現状保存	発掘調査	工事立会	慎重工事	その他	
法第 93 条	0	1	20	8	0	29
法第 94 条	0	26	49	24	0	99

※ 北海道教育委員会に届出等のあったものです。

(6) 平成 27 年度埋蔵文化財包蔵地の発見届等

条項	内訳 (指示事項別)					合計
	現状保存	発掘調査	工事立会	慎重工事	その他	
法第 96 条	0	0	0	0	0	0
法第 97 条	0	0	0	0	0	0

※ 北海道教育委員会に届出等のあったものです。

(7) 平成 27 年度出土文化財認定件数と出土遺物量

認定機関	認定件数	発見通知	合計(件数)	合計(箱数)
北海道教育委員会	64	3	67	3,344
政令市・中核市	3	12	15	286

(8) 平成 27 年度出土文化財譲与件数

	市町村数	件数	箱数
出土文化財譲与	22	104	3,384

※ 箱数は概ね 60 cm×40 cm×15 cm に換算したものです。

3 その他

(1) 北海道教育推進計画（第四次北海道教育長期総合計画）（改定版平成 25 年 3 月）

基本目標 5 北海道らしい生涯学習社会の実現

基本方向 1-1 文化・芸術活動の推進

施策項目 3-6 文化財の保存・活用

● 現状

道内には、長い間受け継がれてきた貴重な文化財^①が数多く残されています。これらは、北海道の歴史や文化を正しく理解するためには欠かせないものであり、道民の共有財産です。これらの文化財は高齢化や少子高齢化など時代の推移により、保存や伝承が困難となっているものもあることから、次の世代に確実に守り伝えていくことが重要な課題です。

このような中、文化財の保存・活用や、アイヌ民俗文化財^②の調査・保存・伝承活動、世界遺産^③登録に向けた北東北3道と連携した取組などの推進を図ってきました。

このうち、「世界遺産登録に向けた取組」では、内閣府沿岸の縄文遺跡群が「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」として、ユネスコの世界遺産暫定リスト^④に記載されたところであり、今後は、関係自治体と連携し、推薦書案の作成や国際会議を実施するなど、登録に向けた取組を積極的に推進していく必要があります。

先人が大切に守り継いできた貴重な文化財の数々を次の世代に引き継いでいくことは、今を生きる私たちの責任であり、今後とも、多くの人々が文化財の素晴らしさを知り、保護の大切さを学び、共通理解のもと、将来にわたって継承していく環境の整備に努めていく必要があります。

● 施策の概要

本道の貴重な文化財を保護するため、有形・無形の文化財、記念物、埋蔵文化財等の調査及び保存・活用を積極的に推進するとともに、アイヌ民俗文化財の保存・伝承の取組を着実に推進します。

また、世界遺産登録の実現をめざし積極的に取組を進めるとともに、文化財の価値や魅力を次代に伝え継承していくため、文化財に親しむ機会の提供や文化財情報の発信に取り組みます。

● 施策の対応方向及び主な取組

施策の対応方向	主な取組
■ 文化財の調査・保存・活用の推進 ① 有形・無形の文化財、史跡 ^⑤ ・名勝 ^⑥ ・天然記念物及び埋蔵文化財等を次代へ引き継いでいくため、文化財の調査及び保存・活用を積極的に進めます。	・ 未指定文化財の調査 ・ 文化財の指定・登録の推進 ・ 文化財の現状把握 ・ 文化財の保存整備
■ アイヌ民俗文化財の調査・保存・伝承活動の推進 ① アイヌの人たちが北国の風土に根ざして育んできた文化は、本道の歴史や文化の形成に深くかかわっており、特に、自然との共生の中で培われた豊かさが知恵や経験は貴重な財産と云えます。有形・無形のアイヌ民俗文化財を後世に伝えていくため、継続して調査に取り組みるとともに、保存・伝承活動を推進します。	・ アイヌ民俗文化財調査や翻訳の推進 ・ 伝承者の養成や地域住民の理解促進のための講座の実施
■ 世界遺産登録に向けた取組の推進 ① 国指定史跡の縄文遺跡群や大規模習穴住居跡群吾人共通通の室として未来に引き継いでいくため、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）の世界文化遺産 ^⑦ への登録に向けた取組を推進します。	・ 4道県（北海道・青森・秋田・岩手）共同での国際的合意形成に向けた国際会議の実施
■ 文化財に親しむ機会の提供と情報の発信 ① 貴重な文化財の価値を正しく理解し、地域全体で後世に伝えていくため、学校教育や社会教育の場において文化財を活用する機会や、文化財に親しむ機会を提供するとともに、文化財に関する多様な情報の発信に取り組みます。	・ 北海道文化財保護推進計画 ^⑧ における文化財公開等の促進 ・ 小・中学生向けのニュースレターの発行

● 目標指標

指標	指標の概要	基準年度の状況	目標年度の状況
国及び北海道の指定文化財数	国及び北海道が指定する文化財の数	H23 312件	H29 330件
文化財の保存・活用への取組状況	北海道文化財保護推進計画(10月8日～11月7日)に、指定文化財が所在する市町村のうち「文化財を活用した事業」を実施している市町村の割合	H24 21.1%	H29 50%
アイヌ文化にかかわる講座・研修会等への参加者数	道内各地で実施されたアイヌ文化にかかわる講座・研修会等への参加者数	H23 2,434人	H29 2,500人

(2) 平成 27 年度北海道文化財保護審議会

北海道教育委員会では、附属機関として北海道文化財保護審議会を設けています。この審議会は、北海道教育委員会の諮問に応じて文化財の保存・活用に関する重要な事項について調査審議し、教育委員会に意見を述べます。

審議会の委員は、学識経験者や文化財と関連の深い行政機関の職員から、教育委員会が任命します。現在、審議会は 15 名の委員で構成されています。

北海道文化財保護審議会の会議の傍聴については、会議の前日までに、申込先に、「住所」「氏名」「年齢」「連絡先」を申し出て、許可を受けると傍聴することができます。

なお、「非公開」の議題は傍聴できません。

- ・申込先：北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課文化財保護グループ
直通電話：(011)204-5749 FAX：(011) 232-1076

平成 27 年度は次のとおり開催しました。

開催年月日	時間	場所	審議内容
平成 27 年 9 月 25 日(金)	14:00 ～16:30	北海道庁赤れんが庁舎 2 階 1 号会議室	・文化財指定・登録の状況について ・文化財の指定録に向けた取組について
平成 28 年 3 月 23 日(水)	14:00 ～16:30	北海道庁別館 8 階 1 号会議室	・文化財指定・登録の状況について ・「屯田兵絵物語附屯田絵巻」、「滝川屯田兵文書 (第二大隊第三中隊・第四中隊文書)」、「新琴 似村屯田兵村記録」の有形文化財の指定について

(3) 北海道文化財保護審議委員一覧 (平成 28 年 3 月 31 日現在)

[任期：平成 26 年 7 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日]

氏名	所属等
乾 淑子	東海大学教授
岩 澤 孝子	北海道教育大学准教授(岩見沢校)
臼 杵 勲	札幌学院大学教授
大 原 雅	北海道大学大学院教授
大 原 昌宏	北海道大学総合博物館教授
鈴 木 幸人	北海道大学准教授
小 杉 康	北海道大学大学院教授
駒 木 定正	北海道職業能力開発大学校特任教授
澤 村 寛	足寄動物化石博物館館長
土 屋 周三	元小樽市総合博物館館長
中 村 和之	函館工業高等専門学校教授
早矢仕 有子	札幌大学教授
本 田 優子	札幌大学副学長
本 田 亘克	北海道開発局開発監理部長
中 村 毅	北海道森林管理局計画保全部長

・北海道文化財保護審議会について→

<http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/hogoshingikai.htm>

(4) 平成 27 年度銃砲刀剣類登録審査会

平成 27 年度の銃砲刀剣類登録審査会を次のとおり 4 回開催しました。

審査年月日	時 間	場 所
平成 27 年 6 月 19 日(月)	10:00~15:00	道庁別館地下 1 階大会議室(札幌市中央区北 3 条西 7 丁目)
平成 27 年 8 月 28 日(金)	10:00~15:00	北海道上川合同庁舎 302 号会議室(旭川市永山 6 条 19 丁目)
平成 27 年 11 月 30 日(月)	10:00~15:00	道庁別館地下 1 階大会議室(札幌市中央区北 3 条西 7 丁目)
平成 28 年 2 月 16 日(火)	10:00~15:00	道庁別館地下 1 階大会議室(札幌市中央区北 3 条西 7 丁目)

(5) 北海道銃砲刀剣類登録審査委員 (平成 28 年 3 月 31 日現在)

[任期:平成 26 年 6 月 1 日~平成 28 年 5 月 31 日]

銃砲刀剣類登録審査委員	審査会場
伊 藤 寛	旭川(8 月)、札幌(2 月)
川 合 喜與文	札幌(6 月、11 月、2 月)
梶 睦	札幌(11 月、2 月)
野 波 明 利	札幌(6 月)、旭川(8 月)
石 井 利 明	札幌(6 月、11 月)

(6) 北海道立埋蔵文化財センター

① 入館者

平成 27 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
入館者数	969	991	1345	1100	1709	1178	910	911	513	685	542	706	11,559

② 資料等の閲覧・貸出等件数

平成 27 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
件数	5	6	2	3	4	7	5	3	5	2	5	5	52

③ 事業別参加人数

区分	事業名	開催日	参加人数
講演会等	平成 26 年度発掘調査報告会	平成 27 年 4 月 18 日	89 人
	夏季講演会	平成 27 年 6 月 6 日	43 人
	秋季講演会	平成 27 年 10 月 10 日	73 人
考古学 教室	ガラス玉づくり入門	平成 27 年 6 月 20 日	17 人
	発掘調査入門 1	平成 27 年 8 月 8 日	17 人
	発掘調査入門 2	平成 27 年 9 月 5 日	22 人

	石器づくり入門	平成 27 年 11 月 14 日	15 人
	埋文センター発掘物語	平成 27 年 11 月 28 日	26 人
こども考古学教室	親子ガラス玉作り	平成 27 年 6 月 20 日	16 人
	夏休み自由研究教室 1	平成 27 年 7 月 25 日	20 人
	夏休み自由研究教室 2	平成 27 年 8 月 1 日	31 人
	冬休み自由研究教室 3	平成 28 年 1 月 9 日	22 人
	冬休み自由研究教室 4	平成 28 年 1 月 16 日	28 人
研修会	平成 27 年度埋蔵文化財担当職員出前研修会	平成 27 年 9 月 3 日	13 人
	平成 27 年度埋蔵文化財担当職員研修会	平成 27 年 12 月 11 日	28 人

④ 平成 27 年度テーマ展日程

展 示 名		展示期間
1	(公財)北海道埋蔵文化財センター 「北の縄文－縄文探訪と縄文工房－」展	平成 27 年 7 月 4 日～10 月 4 日
2	北海道遺跡百選 8 「縄文アクセサリーコレクション 2015 －恵庭市西島松遺跡群と副葬品－」展	平成 27 年 10 月 31 日～28 年 2 月 28 日
3	(公財)北海道埋蔵文化財センター 平成 26 年度発掘調査成果展	平成 27 年 3 月 28 日～6 月 14 日
4	世界遺産をめざす北の縄文展	通 年

⑤ 平成 27 年度考古学教室出前講座一覧

[事業分]

市町村	実施場所	実施日	参加人数
むかわ町	むかわ町立富内小学校	平成 27 年 6 月 25 日	14 名
羽幌町	羽幌町中央公民館	平成 27 年 7 月 11 日	32 名
砂川市	砂川市オアシスパーク遊水地管理棟	平成 27 年 8 月 2 日	23 名
蘭越町	蘭越町民センターらぶちゃんホール	平成 27 年 8 月 5 日	43 名
上川町	上川町かみんぐホール	平成 27 年 8 月 29 日	11 名
厚岸町	厚岸町立真龍小学校	平成 27 年 9 月 26 日	18 名
雨竜町	雨竜町公民館	平成 27 年 10 月 3 日	30 名

(7) 文化財情報の発信

文化財の価値や魅力を子どもたちや道民に広く知ってもらうため、北海道教育委員会のホームページで文化財情報の発信を行いました。

主な文化財情報は次のとおりです。ぜひ、アクセスしてみてください。

ホームページタイトル	公開日	主 な 内 容
北の遺跡案内	平成 16 年～ (年 4 回更新)	北海道内に所在する埋蔵文化財包蔵地の位置を地図上に示し、あわせて遺跡名、所在地、時期、出土遺物などの遺跡情報を公開しています。
		URL : http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kitanoisekiannai.htm
出土文化財を見ることができる主な博物館・資料館	平成 20 年 1 月 30 日	国指定や道指定などの文化財を展示・公開している博物館・郷土資料館について、主な見どころと所在地などを紹介しました。
		URL : http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/19museum-guide.htm
文化財まる知ナビ	平成 20 年～ (随時更新)	文化財に関する情報をニュースレター形式で分かりやすく解説したものです。年 5 回程度発行しています。
		URL : http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/bunkazaimaruchinabi.htm
平成 26 年度北海道文化財年報	平成 27 年 8 月 5 日	平成 26 年度の北海道における文化財保護の動き、現状についてわかりやすくまとめ、公開しました。
		URL : http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/H26bunkazainennpou.pdf
平成 27 年度文化財保護強調月間	平成 27 年 9 月 26 日	北海道文化財強調月間(10月8日～11月7日)期間中に開催された文化財公開・活用事業ガイドブックを公開するとともに、小学生～高校生が応募したキャッチフレーズやシンボルマークを掲載しました。
		URL : http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kyoutyougekkann.htm
市町村における発掘調査の概要(平成 27 年度版)	平成 27 年 5 月 11 日～	平成 27 年度に市町村教育委員会が実施した発掘調査について紹介しました。
		URL : http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/h27gaiyou.htm
もっと知ろう身近な文化財(指定文化財概要一覧)	平成 21 年 12 月 16 日～ (随時更新)	国指定・道指定の概要について画像とともに紹介しています。
		URL : http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/shiteibunnkazaijoho.htm
「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の世界文化遺産登録をめざして	平成 21 年 8 月 7 日～ (随時更新)	「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の世界文化遺産登録にむけたフォーラムや特別展などの取組について紹介しました。
		URL : http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/wh.htm

(8) 文化財関係機関・団体リンク

1	文化庁	http://www.bunka.go.jp/
2	北海道環境生活部文化・スポーツ局 文化振興課	http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/bns/index.htm
3	公益財団法人北海道埋蔵文化財センター	http://www.domaiibun.or.jp/
4	北海道文化財保護協会	http://hokkaido-bunkazai.jp/